

第七十三回帝國議會 衆議院 社會事業法案外二件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
社會事業法案(政府提出)
商店法案(政府提出)
簡易生命保險法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十三年三月四日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 岩吉君

理事古田喜三太君 理事野口 喜一君

理事小池 四郎君

土屋清三郎君 清水留三郎君

最上 政三君 伊藤東一郎君

湊 季松君 塚本 三君

伊東 岩男君 庄司 一郎君

馬岡 次郎君 星島 二郎君

佐保 畢雄君 太田 理一君

坂本宗太郎君 鈴木 文治君

松本治一郎君 椎尾 辨匡君

三月三日委員松尾孝之君辭任ニ付其ノ補關トシテ伊東岩男君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月四日委員古田喜三太君辭任ニ付其ノ補關トシテ森下國雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事古田喜三太君ノ補關トシテ長野高一君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

拓務省管理局長 棟居 俊一君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生參與官 山本 芳治君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生省社會局長 山崎 巖君

厚生書記官 灘尾 弘吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

社會事業法案(政府提出)

○服部委員長 ソレデハ開會致シマス——

鈴木君

○鈴木委員 私ハ昨日一般質問ハ大體終ッ

タト申上ゲテ置キマシタガ、能ク見マス

二ツノ點ダケ漏レテ居ルヤウニ思ヒマス

カ、之ヲ追加スルコトヲ御許ヲ願ヒマス、

第一ハ、我國ニ於ケル所ノ社會事業ノ分布

狀態ヲ見マスルト、ソレガ各方面ニ互ニ分

レテ居ルノデアリマス、或ハ文部省、或ハ

司法省、或ハ逓信省、大藏省、鐵道省、其他

各省所管事業ノ中ニ於テ、本件ニ關係シタ

事項ニ付テ、未ダ何ト云フ統制アル所ノ方

針ヲ御示シニナッテ居ラナイノハ、ドウ云フ

理由ニ依ルノデアルカ、譬ヘテ申上ゲマス

ト云フト、逓信省ノ關係デ申シマスレバ、

日本救濟會、水難救濟會ト云フ一種ノ社會

事業ハ、逓信省所管ニ屬シテ居ル、鐵道省

ハ鐵道省ニ於テノ專賣關係其他ノ事業ト云

フモノガ、皆シナ別々ニナッテ居リマス、

皆シナ別々ニナッテ居ラナケレバナラナイ

ナラバ、厚生省ト云フ省ハ必要デナイト思

フ、厚生省ト云フ所ノ省ニ纏メルト致シマ

スレバ、官衙各省ニ於テヤッテ居ル事業デ

アルニモ拘ラズ、總テ之ヲ一纏メニシテ置

ク必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、斯

ウ云フコトニ付テ御同致シタイト思ヒマス

○工藤政府委員 事務當局ノ方デ相當其點

ハ調査モ考究モセラレテ居ッタヤウデアリ

マスガ、同ジ政府ノ一部デヤル仕事トシテ、

之ヲ各省ニ散在セシメテ居ルコトハ、果シ

テ統制上、或ハ助長スル上ニ於テモ、政策

トシテ考ヘル場合ニ於テモ、適當デナイト

云フコトハ私共考ヘテ居リマス、併シ一方

又各省ニ分散セシメテ置クコトガ宜イト云

フ方ノ議論カラ見ルト、同ジ官廳デアッテ、

同ジ政府ノ一部デヤッテ居ルモノデアルカ

ラ、左程ニ此一省ニ纏メヌデモ宜イデヤナ

イカト云フヤウナ、餘リ實ハ理窟ノ通ラヌ

ヤウナ理窟デスケレドモ、併シ是ハ今日ノ

日本ノ各官廳ノ狀況カラ見テ、又企畫院ナ

ドモ出來テ、サウ云フモノニ全力ヲ入レナ

ケレバナラヌ、企畫院トシテハ仕事ヲ持ッテ

居ルノダラウト思フノデスケレドモ、サウ

云フヤウナ種類ノモノハ、實ハ出來得ルダ

ケ厚生省ヘ纏メテサウシテ一貫シタル系統

ノ下ニ厚生行政ヲヤリタイト云フコトノ、

省トシテハ希望ヲ持ッテ居ル譯デアリマス、

漸次是等ハ新ニ設ケラレテ居ル企畫院ナド

トモ能ク相談ヲシテ、出來ルダケハ纏メタ

イト思ッテ居リマスガ、併シ相當困難デア

ルト云フコトハ無論覺悟致シテ居リマス

○鈴木委員 サウ致シマス、各省ノ社會

事業ト云フモノハ、是ハ本法ノ第一條ノ第

六號ニ規定シテアリマス指導、聯絡、助成

ニ付テハ、何等關係ノナイ特別ナル所ノ方

法デアッテ行クノデアリマスガ、サウスレバ

其間ニ於ケル厚生省デヤル所ノ保護、指導、

聯絡事業ト云フモノト、各省ニ於ケル關係

ト云フモノガ、非常ニ違ヒガ出來テ來テ、

テント／＼バラ／＼ニナル所ノ結果ニナルト

思フノデス、テント／＼バラ／＼ニナッテモ宜

イト思ッテ居ラレマスルガ、其點ニ付テ御同

シタイノデアリマス

○山崎政府委員 極メテ廣イ意味ニ於キマ

スル社會事業ト申シマスカ、社會福祉事業

ト申シマスルカ、只今鈴木サンカラ御指摘

ノ通りニ、現在ノ狀態デハ、各省ノ所管ニ

バラ／＼ニ所屬致シテ居リマヌヤウナ狀況

デゴザイマス、是等ノ將來ノ方針ニ付キマ

シテハ、只今政務次官カラ御説明ノアリマ

シタ通りニ、事務ノ當局ニ於キマシテモ考

ヘテ居ル所デゴザイマス、尤モ現在ノ狀況

ハ、又ソレ／＼所管ノ各省ニ於キマシテ之

ヲ取扱ヒマス理由モ、殊ニ沿革的ニ考ヘ

マスルト、相當ニ存在致シテ居ルヤウニ思

フノデアリマス、各省所管ノソレ／＼ノ行

政ノ立場カラ、各省デ行ヒマスコトガ、却

テ便利ナ場合モアルノデアリマス、本法立

案ニ當リマシテハ、各省トモ十分ノ連絡ヲ

取リマシテ、茲ニ御提出ヲ申上ゲマシタヤ

ウナ法案ニナリマシタヤウナ次第デゴザイ

マス、只今御質問ノゴザイマシタ社會事業

法第一條第六號ノ指導、聯絡、助成ノ問題

デゴザイマスガ、是等ハ固ヨリ第一

條第一號乃至第五號ニ掲ゲテ居リマスル事

業ノ指導、聯絡及ビ助成ヲ爲ス事業ヲ、本

法デハ規定ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、

隨ヒマシテ各省所管ニ屬シマスル事業デア

リマシテ、本法ヨリ除外ヲ受ケマス所ノ指

導、聯絡、助成ノ事業モ、亦本法カラ除外

ヲサレルコトニ、只今御尋ノ通りニ結果ト

シテハ相成ル譯デアリマス、是等ノ點ニ付

キマシテハ、今後本法ガ御協賛ヲ得マシタ

曉ニハ、一層各省ノ間ニ連絡ヲ取リマシテ、

指導ノ方法ナリ、或ハ聯絡助成ノ方針ナリ

ニ齟齬ヲ來シマセヌヤウニ、又是カラノ方

針ニ相違ヲ生ジマセヌヤウニ、一層ノ連絡

ヲ緊密ニ致シマシテ、其完璧ヲ期シテ參リ

タイト考ヘテ居リマス

○鈴木委員 サウ致シマス、厚生省ハ他

ノ省デ欲シイト云フノ銘々ニ取ツテ居ル

餘リヲ貫ツタヤウナ觀ニナル、厚生省自體

ガ、厚生省ガ出來タト云フ本來ノ意味ト云

フモノヲ、殆ド達成ガ出來ナイヤウニ思フ

ノデアリマス、殊ニ指導、聯絡、助成ト云

フ場合ニ於テハ、各省ニ於テ指導、聯絡、

助成ヲ爲ス場合ニ於テ、厚生省ニ於テ定メ

タル方針ニ從フト云フ積リデアリマセウ

カ、或ハ厚生省ノ方針ヲ採入レテ其方針ニ

從ツテヤルト云フ方針デアリマセウカ、ドウ

モ厚生省ト云フモノガ出來タト云ウテモ、

他ノ省ニ於テヤッテ居ル所ガ澤山アッテ、厚

生省デヤッテ居ル所ノモノハ、其一部分ニ過

ギナイト云フナラバ、私ハ厚生省ガ成立ツタ

理由ト云フモノガ明カデナイト思フ、厚生

省ハ無キニ等シイ結果ニナル、厚生省ハウ

ント頑張ッテ、各省ノ事業ト雖モ、厚生省ノ所

管ニ關係ガアルナラバ、寧ロ厚生省ニ取ラ

レルノガ至當デアル、斯ウ私ハ思フノデア

リマス、此點ニ付テモウ一度御伺致シタイ

ノデアリマス

○山崎政府委員 重ネテノ御尋デゴザイマ

スルガ、本法ノ適用ヲ受ケマスル社會事業

ノ範圍ハ、相當廣範圍ニ互ツテ居ルコトハ御

承知ノ通りデアリマス、寧ロ社會事業ノ全

體ノ分野カラ考ヘマスルト、厚生省以外ノ

各省デ分擔ヲ致シテ居リマス社會施設ハ、極

メテ特殊ナ目的ヲ持ツタモノガ主タルモノ

デアルノデアリマス、例ハバ刑事政策的ノ

見地カラ、現在司法省デ指導監督ラシテ居

リマスル司法保護事業ノ如キモ、社會事

業全體ノ分野カラ見マスレバ、範圍ハ必シ

モ廣クハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、

隨ヒマシテ大體社會事業ノ大キナ分野ヲ持ッ

テ居リマスル、厚生省ノ指導、聯絡、助成ニ

關シマスル方針ハ、又各省ニ於テモ大體之

ニ順應シタル方針ノ下ニ、ソレ／＼ノ所管

ノ社會事業ノ指導、聯絡、助成ニ當ラレル

コトト考ヘルノデアリマス、又現在ニ於キマ

シテ、大體各省所管ハサウナッテ居リマス

ルケレドモ、其方針ニ於キマシテハ、大體

ニ於テ一貫シタ方針ノ下ニ取扱ツテ參ッテ居

ル譯デアリマス、唯將來是等、各省所管ノ

ソレ／＼ノ事業ヲ、出來ルダケ一箇所ニ取

纏メテ行フト云フ方針ニ付キマシテハ、只

今政務次官カラ御説明ノアリマシタ通り、

厚生省ノ事務ニ於キマシテモ一層ノ努力ヲ

拂ヒマシテ、御期待ニ副フヤウニ努メタイ

ト考ヘマス

○鈴木委員 私ノ申上ゲマスルノハ、厚生

省自體ノ權限ヲ擴張シタイカラ申上ゲルノ

デゴザイマシテ、同ジ國家ノ事業デアルカ

ラ、ドノ省デヤッテモ宜イト云フナラバ、厚

生省ノ必要ハナイ、而モ國家ニ於テ厚生省

ト云フモノヲ別ニ設ケル必要ガアルト認メ

タ以上ハ、厚生省關係ノ仕事ト云フモノハ、

厚生省ニ收メルノガ當リ前デアルト思フノ

デス、例ハバ勞働關係デ申シマシテモ、勞

働組合ノ關係デ云ヒマスナラバ、特別ナ勞

働組合ト云フモノヲ海軍省ハ持ッテ居ル、或

ハ最近マデハ陸軍省デモ持ッテオ居デニナッ

タ、陸軍省デ持ッテオ居デニナリ、或ハ海軍

省デ持ッテオ居デニナル勞働組合ハ、内務省

デ勞働關係ノ所管ラシテ居リナガラ、ドウ

モ所管ノ關係ガ思フヤウニ行カナカッタヤ

ウナ事情ガアルノデ、是ハヤハリ沿革ガ長

ケレバ長イ程、斯ウ云フ風ニナルト思フノ
デアリマス、厚生省ガ出来マシタ最初ニ於
テ、此點ニ付テ寧ロ一層ノ協調ヲ重ネ、厚
生省ニ取ラレルコトガ至當デアルト思フ、
私ハ後ノ發展ヲ考ヘマスガ故ニ、此點ヲ特
ニ御注意申上ゲナケレバナラスト思フノデ
アリマス

○工藤政府委員 鈴木委員ノ御考ハモウ全

然同感デアリマシテ、折角出来タ此厚生省
ハ、御話ノヤウナ方針ヲ以テ茲ニ統制ヲシ
テ、正シイ系統ノ下ニ、ヤハリ輔弼上ノ責
任ヲ持ツ大臣ヲ作ッテ居ルノデスカラ、之ニ
依ッテ厚生行政ヲ作興スルト云フコトハ、極
メテ當然ナコトデアリマス、只今事務當局
ヨリ申上ゲマシタヤウナ次第デアッテ、今之
ヲ急ニ纏メテ行クト云フコトハ困難デアリ

マスケレドモ、恐ラクハ其方向ニ向ッテ進
ムノガ厚生省ノ方針デナケレバナラス、斯
様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、最善ノ努力
ヲ致シテ、出来ルダケ近い將來ニ於テ、著々
左様ナル方面ヲ實現シタイト考ヘテ居リマ
ス

○鈴木委員 ソレカラ次ノ問題デアリマス

ガ、是ハ本法ノ適用以外ニナルカ、或ハ場
合ニ依ッテハ以內ニナルカ知レマセスガ、外
地ニ於ケル所ノ社會事業、例ヘバ朝鮮、臺

灣、樺太、南洋ト云フ風ナ、各地ニ於ケル
所ノ社會事業ノ統制、保護ニ關シテハ、ド
シナ方針ヲ御持チニナッテ居デニナルカ、
殊ニ問題ハ關東州デアリマスガ、關東州ニ
於テ最モ重要視シテ居ル所ノ社會事業關係
ノ事柄ハ、當然必要ナコトデアルト思フノ
デアリマス、殊ニ地續キノ關係ニアル所ノ
北支、中支、南支ノ社會事業デアリマスガ、
是ハ外國ノ事柄デアルカラ、當然放テ置イ
テ宜イト思召ニナルノデアルカ、或ハ他國
ノ事柄デアアルケレドモ、軍事上當然我ガ
日本ノ所管ニ屬スベキ事柄デアルト思フカ
ラ、之ニ對シテハ何等カノ處理ヲ御執リニ
ナル積リデアアルカドウカ、斯ウ云フコトニ
付テ御伺ヲ致シタイ

○工藤政府委員 御話ノ法律ノ適用ノ地域

ハ、無論外地ニハ及ンデ居リマセス、況ヤ
支那、滿洲ニハ及ンデ居ラヌノデアリマス
ケレドモ、今日ノ日本ノ國情ト、新ニ展開
シテ參リマシタ支那事變トノ關係カラ見マ
シテ、ヤハリ日本ハ支那ニ於ケル新政權ト
相當ナル諒解交渉ノ下ニ、何等カ日本トシ

テモ此厚生主義ト申シマスカ、此政策ヲバ
漸次擴ゲテ行ク必要ガ必ズ起ルダラウト、
私共ハ考ヘテ居リマス、省トシテハマダ具
體的ニ相談ハ致シマセヌケレドモ、何レ斯

様ナコトハ大臣トモ相談シテ、各省ニモ支
那關係ノ機關モソレ／＼出来テ居ルヤウデ
アリマスカラ、此點ニ對シテ何等カ具體的
ニ進ミタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、
私ハマダ就任早々デアルカラ、能ク省内デ
モ相談致シタイト思ヒマス、唯御承知ノ通
リ支那ニ致シマシテモ、滿洲ニ致シマシテ
モ、獨立國トシテドノ程度マデヤッテ宜イ
カハ、無論程度問題デアリマス、而シテ其處

ニハ又我ガ帝國臣民モ、ソレ相當住居致シ
テ居ルノデアリマスカラ、外國人即チ日本
臣民ニアラザル者ト、日本臣民トノ間ノ仕
事ノ仕振リヤ、施設ノ仕方ガ、又自ラ違ッテ
行クカモ知レマセス、要スルニ朝鮮ニ致シ
マシテモ、滿洲或ハ關東州ナドニ致シマシ
テモ、支那ヨリカ更ニ一層緊密ナル關係ガ

アリマスカラ、此點モ能ク關係省ナドト相
談ヲシテ、此厚生主義ヲ獨リ日本バカリデ
ナク、更ニ外地ニマデ出来ルダケ及ボシ、
此政策ニ依ッテ受クル所ノ恩惠ヲ均霑セシ
ムルコトガ、適當デナイカト考ヘテ居ル、
少クトモ日本ノ外地ト稱スル所——外國ハ
別デアリマスケレドモ、滿洲國、支那、及

ビ外地ト稱スル方面ニモ、ヤハリ此日本ノ
厚生行政ノ良イ結果ヲ及シテ行クトガ、
至當デナイカト考ヘテ居リマス

○鈴木委員 外地ノ關係ニ付テハ、拓務省
ノ關係デアルト思フノデアリマス、拓務省
ノ政府委員ノドナタカ御出席ヲ願ヒタイト
思ヒマス、是ハ厚生省ダケデハ甚ダ不十分
デアルノデ、ドウ云フ風ニナッテ居ルノデア
ルカ、ドウ云フ風ニスル積リデアアルカト云
フコトニ付テ、御意見ヲ伺ヒタイト思フノ
デアリマス

只今工藤政務次官閣下モ仰セニナリマシ
タ通り、外地トハ言ヒナガラ、朝鮮、臺
灣、樺太、南洋等ハ、殆ド我國ト同様ノ立
場ニアルト思フノデアリマス、殊ニ朝鮮ノ
如キハ、今年カラハ志願兵ヲモ募集スル
ヤウナ様子デアリマスノデ、殆ド準内地同
様デアルト思ウテ差支ナイト思フノデ

アリマス、臺灣モ無論其様ナ譯デアリマス
ノデ、朝鮮人ト云ヒ、臺灣人ト云ヒ、等
シク内地人ト同様ナ立場ニ於テ社會事業ヲ
行フベキデアリマシテ、是即チ一視同仁ノ
御聖旨ニ對ヘ奉ル所以デアルト思フノデア
リマス、朝鮮デアアルカラ社會事業ハ比較的
衰ヘテ居ッテモ宜イ、臺灣ダカラ比較的粗雑

デモ宜イト云フ風ナ理窟ハナイト思フノデ
アリマス、ノミナラス毎年中央社會事業關
係ニ於テモ、臺灣、朝鮮等カラ視察員ガ出
テ來ルノデアリマス、出テ來マシテ、内地

ニ於ケル様子ヲ見テ行クノデゴザイマシテ、日本ニ於ケル社會事業關係如何ト云フコトガ、ヤハリ朝鮮ナリ、臺灣ナリ等ニ於ケル社會事業關係ノ上ニ、影響スルトコロ頗ル多イト思フノデアリマス、私ハ厚生省トシマシテモ、將來ハ是非内地同様ニ其權限ヲ擴張スベキ筈デアリマス、朝鮮、臺灣等ニ及ボスベキ筈デアリマシテ、今迄ニ及ボサレナカッタコトハ、寧ロ不思議デアルト思フ位デアル、私ハ是ハ厚生省ノ權限擴張ヲ主張スルヤウナコトニナルノデアリマスケレドモ、ドウセヤルモノナラバ、是ハ日本國家全體トシテ、隅々端々ニ至ル迄此權限ヲ及ボサナケレバ、私ハ本當ノ效果ハ擧ラナイト思フ、日本内地ニ於テスラ甲ノ省、乙ノ省ト、各別ナコトラヤッテ居ル、況ヤ朝鮮、臺灣、樺太、南洋等ハ別々ニヤッテ居ル、ホンノ一部ノ厚生事務シカ厚生省ハ執ラナイト思フノデアリマス、私ハ此點頗ル遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、デアリマスカラ、私ハ是ハ後ニ拓務省關係ノ政府委員ガ出マシタナラバ御尋致シマスケレドモ、朝鮮、臺灣、樺太、南洋等ニ於ケル所ノ社會事業關係ハ、ドンナ風ニナッテ居ルカ、或ハ内地ト同ジヤウナ風ニヤッテ居ルカト云フコトヲ御尋致シタイト思フノデアリマス、ソ

レデ私ノ一般質問ハ終リマシタ、次ニ逐條ノ關係ニ入リタイト思フノデアリマスカ、逐條關係ハ五六條アリマス、第一ハ、先程一寸一言觸レマシタケレドモ、第一條ノ第六號デアリマス、前各號ニ掲グル事業ニ關スル指導、聯絡又ハ助成ヲ爲ス事業」ト云フコトガ書イテゴザイマスガ、此指導ト云フ意味ハ、具體的ニ申シマスト、ドノヤウナコトラ申スノデアリマスカ、此點ニ付テ御同致シタイノデアリマス

○山崎政府委員 第一條ノ第六號ノ指導ノ意味ニ付テノ御尋デゴザイマスルガ、是ハ公私社會事業ノ經營ノ實際ニ當ル人ノ指導、訓練ノ意味ノ事業ヲ考ヘテ居リマス

○鈴木委員 サウ致シマスト、指導ト云フノハ、例ヘバ法律上、手續上、其他ノ關係ニ於テ、斯ウシテハナラス、ア、シテハナラスト云フコトラ、所謂指導サレル意味ノコトデアリマセウカ

○山崎政府委員 單ニ法律上ノコトノミデハゴザイマセヌノデアリマシテ、事實其經營ノ實際ノ相談ニ當ルヤウナ場合モ、此指導ノ中ニ含メテ居リマスヤウナ譯デアリマス

○鈴木委員 サウスルト指導官ト云フ人ハ、ドノヤウナガ當ルノデアリマセウカ

○山崎政府委員 中央ニ於キマシテハ、厚

生省社會局ノ一課ヲ成シテ居リマス保護課ガ、此方面ノ中心ノ機關ニナル譯デアリマス、地方廳ニ於キマシテハ、御承知ノ通り既ニ各府縣ニ學務部ノ社會課ト云フノガ獨立シテ存在致シテ居リマス、ソコニモウ殆ド全府縣デアリマスガ、私設社會事業、公設社會事業ノ指導ニ當リマス社會事業主事ト云フヤウナ職員モ配置サレテ居リマシテ、是等ノ人ガ實際事業ノ經營ノ眞ノ相談相手ニナリマシテ、事業ガ發展ヲ致シマスヤウニ現在デモヤッテ居リマス、尙ホ本法ガ出來マスト、一層其方面ニ是等ノ職員ガ力ヲ注グコトニ相成ルト考ヘマス

○鈴木委員 サウ致シマスト、指導致シマス人ハ官吏デゴザイマスネ、念ノ爲ニ伺ヒマス

○山崎政府委員 第六號ニ掲ゲデアリマス指導ノ事業ハ、役所デヤリマス事業ヨリモ、寧ロ民間ノ——府縣ニ於キマシテハ、社會事業協會ト云フヤウナ組織ガ出來テ居リマシテ、サウ云フ所デ本當ノ意味ノ相談相手ニナリマスヤウナ職員ヲ置イテ居リマス、隨ヒマシテ第六號ニ掲ゲデアリマス指導ヲ爲ス事業ト申シマスノハ、主トシテ民間ノ團體等ノ職員ガ之ニ當ルコトニナッテ居リマス

○鈴木委員 サウ致シマスト、指導官ガ當ツテ居ルヤウナ御話デアリマシタケレドモ、指導官デハナクテ、民間ノ社會事業關係ノ人ヲ言フノデアリマスカ、其點ニ付テ伺ヒタイ

○山崎政府委員 社會事業ノ實際ノ指導ニ當リマスノハ、先程申上ゲマシタヤウニ、中央、地方ノ官吏モ無論當ルノデアリマスガ、第六號ニ掲ゲデアリマス指導ヲ爲ス事業ト申シマスノハ、寧ロ民間ノ社會事業協會、サウ云フモノヲ主トシテ指シテ居リマスト云フ風ニ御解釋ヲ願ヒマス

○鈴木委員 私モ多少ソコニ疑義ヲ懷イタノデアリマシテ、官吏ガ之ニ當ルト云フコトニナリマス、官吏ハ今ノ日本ノ制度ニ於テハ始終送ルノデス、然ルニ民間ノ事業ニ當ル人ハ殆ド一生變リガナイ、此様な事情デアリマスノデ、指導ヲスル者ヨリモ指導ヲ受ケル者ノ方ガ、寧ロ慣レテ居リマスカラ、指導ト云フコトラ若シ法律上、手續上ノコトニ限リマスナラバ、成程官吏ハ心得テ居リマセウケレドモ、事實上ノ指導ヲ爲スコトガ加味セラレテ居リマスナラバ、指導ヲ受ケル側ノ人ノ方ガ、寧ロ指導ノ役ヲ勤メルコトガ多クハナイカ、斯ウ考ヘマシタノデ、サウ云フ質問ヲ致シタイノデアリマス、尙ホ此指

導ニ關係致シマシテ御同致シマスノハ、政府ニ於テハ一々ノ場合ニ付テ指導セラレルヨリモ、寧ロ標準社會事業——是ハ過日大臣ニ御尋致シタノデアリマスガ、標準社會事業ト云フヤウナモノヲ經營サレテ、斯ウ云フヤウナ事業ニ付テ經營ヲ致シタイト云フ届出ガアリマシタ際ニ、ソレナラバ茲ニ斯ウ云フ例ガアル、サンプル「ガアルカラ、此「サンプル」ニ從ッテ經營シテ貫ヒタイト云フ風ニヤル方ガ宜クハナイカ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマスガ、標準社會事業ト云フコトガ當ッテ居ルカドウカ知リマセヌガ、サウ云フ意味ニ於ケル社會事業ヲバ、政府自ラ經營致サレル意思ガアルカドウカト云フコトヲ御尋致シタ次第デアリマス、其點ニ付テハ、今ノ所サウ云フ考ガナイト云フ話デアリマスケレドモ、其點ニ付テ今一度事務當局カラ御話ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○山崎政府委員 標準社會事業ヲ國家ニ於テ經營スル必要ガアリハシナイカト云フ御尋ニ付キマシテハ、過日厚生大臣ヨリ申上ゲマシタ通りニ、現在ノ實情カラ申シマスルト、其處マデハ進ンデ居ラナイヤウナ狀態デアリマス、唯國家ガ直接經營ハ致シマセヌケレドモ、社會事業ノ經營ニ關シマ

スル色々ナ指導方針ト申シマスカ、或ハ標準ト申シマスカ、サウ云フモノニ付キマシテハ、中央ニ於キマシテモ相當ノ攻究ヲ致シマシテ、例ヘバ託兒所ノ經營ニ當ッテハ、斯ウ云フ程度ノ施設ガ必要デアルト云フヤウナコトニ付テハ、個々ノ事業別ニ色々ト攻究ヲ致シテ居リマサウナ次第デアリマス、現在ノ實情ハ、御承知ノ通りニ個々ノ施設ニ付テノ指導ト申シマスルヨリモ、國家ガ直接ヤッテ居リマスコトハ、寧ロ各種ノ法制ヲ制定致シマシテ、其法制ニ依ッテ全國的ノ社會事業ノ發達振興ヲ期スルト云フヤウナ點ニ、主力ヲ注イデ居リマサウナ狀況デアリマス、例ヘバ救護法ノ實施デアリマス

トカ、母子保護法ノ實施デアリマスカ、今回ノ社會事業法ノ制定モ、亦サウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデゴザイマス、唯併ナガラ行クノハ國家ニ於テモ、社會事業施設ノ直接經營ト云フコトモ、御説ノ通り將來ハ攻究致サナケレバナラヌ問題デアルト考ヘルノデアリマス

○鈴木委員 次ハ第二條デアリマス、第二條ノ一番終ヒノ所ニ「其ノ旨事業經營地ノ地方長官ニ届出ヅベシ」ト書イデアリマス、是等ノ主義ニ關シマシテハ、御承知ノヤウニ認可主義、許可主義ト云フモノト、届出主

義トアルノデアリマシテ、認可主義、許可主義ヲ捨テテ、届出主義ヲ御採リニナリマシタ根本ノ理由ハ、何處ニアルノデアリマスカト云フコトヲ御同致シマス

○工藤政府委員 前回ニモ其點ハ他ノ委員カラ御質問ガアリマシタガ、社會事業法ハ餘リ國家ガ干涉シテハナラヌ、慈善ノ考ヲ持ッテ居ル篤志家ガ多ク自發的ニ企テルノデアルカラ、餘リ國家ノ力ハ加ハラヌ方ガ宜カラウト云フノデ、何ト申シマセウカ、一ツノ自由政策的ニ考ヘヨウト云フノデアリマス、必シモソレニ拘泥シテヤツ譯デハゴザイマセヌケレドモ、大體ニ於テハ、ヤハリ國ノ力ガ加ハルニ從ッテ、自然ニ社會ニ發生シテ來ル所ノ社會事業ガ、萬々一ニモ萎縮スルヤウナコトガアツテハ、洵ニ遺憾デアリマスカラ、今日ノ日本ノ國情カラシテ、先ヅ届出主義ニシテ、而シテ又將來國家ガドウ云フ工合ニ發展致スカハ知リマセヌケレドモ、國家ノ全責任ニ於テ左様ナ方面ニ費用モ澤山掛ケ、又國家ノ全責任ニ於テ一切ノ仕事ヲヤルト云フ時代ガ來ルカモ知レマセヌガ、今日ノ所デハ先ヅ届出主義ニ依ッテ、或ル程度マデ監督、助成、統制シタ方ガ宜カラウト、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、別ニ深い根據ハナイノデスケレドモ、先

ヅ實際ニ即シタ程度ニ於テ、此方ガ宜カラウト云フコトデ致シタ譯デアリマス

○鈴木委員 大體了承ヲ致シマシタガ、届出主義ト云フ風ナコトラ用ヒラレルト云フコトハ、民間ノ事業ニ壓迫ヲ加ヘテハナナイ、民間事業ヲシテ萎縮シタ感ジヲ持タシテハナラナイト云フ意味デアリマスナラバ、後ニアリマス所ノ罰則ノ如キハ、隨分酷イ法律デアルト思フ、民間ニ自由ニヤラシタ方ガ宜イト云フノデ以テ届出主義ヲヤルナラバ、私ハ後ノ罰則ノ如キハズット輕クサレタ方ガ宜クハナイカト思フノデアリマス、前ノ認可主義、許可主義ニ對シテ届出主義ヲ採ラレタ精神ト、此法律ノ後ニアリマス所ノ罰則ノ規定ト云フコトハ、私ハ矛盾シタ所ガナカラウカト云フヤウニ思フノデアリマスガ、其點ニ付テ……

○工藤政府委員 一應御尤ナ御質問デ、此點モ二三回御質問ガアリマシタガ、私ガ答ヘマシタ關係上、鈴木委員ニ御答申上ゲマス、罰則ハ強イカ弱イカ、酷デアルカ輕クアルカト云フコトハ、斯様ナル性質ノ事業法案ニ對スル制裁トシテハ、常識的ニハ酷デアルト云フコトラ考ヘルノモ、亦一ツノ考デアリマスケレドモ、世ノ中ニハヤハリ慈善ヲ名トシテ、人ノ弱味ニ乗ジテ以テ、

様々ナル事業ヲ企テル者ガナイトモ限ラナイノデアリマス、法律ハヤハリ之ヲ豫想致シマス、假ニ現實ニナツテモ起リ得ル可能性ヲ持ツテ居ルト云フコトニ付テハ、相當ノ用意ヲ以テ立法手段ヲ執ラナケレバナラナイト存ジマス、ソコデ此善良ナル事業家ヲシテ自由ニ活動セシメテ、此社會事業方面ニ十分ナル貢獻ヲシテ見タイト云フ篤志家ニ對シマシテハ、成ベク其途ヲ開イテ行キタイト云フノガ、此法律ノ趣旨デアリマスカラ、今日恐ラク大小數万ノ慈善事業ガアルデアリマセウ、之ニ對シテ私共ハ全部優良ナモノトハ認メマセヌガ、先ヅ優良ナモノヲ助長シ指導スル上ニハ、一應届出ノ手段ヲ執ルニアラザレバ、如何ナル事業ガ何處ニ發生シテ居ルカト云フコトガ分リマセヌカラ、隨テ此届出主義ニ依ツテ左様ナル社會事業ノ、何處ノ地ニドウ云フモノガ起ツテ居ルカト云フコトヲ、大體ニ於テ展望スルコトノ機會ヲ得ルノモ、亦當局トシテハ當然ナコトト考ヘマシテ、此届出主義ヲ採ツタノデアリマス、嚴罰主義ト云フノハ見様デアリマスガ、此點モ古田君ヤ或ハ長野委員其他ノ方カラ屢々質問ガアリマシタ、實ニ此法律ヲ作ル上ニ於テモ、相當此點モ考ヘタノデアリマスガ、先ヅ吾々ノ第一ニ考ヘタノハ、

一ツノ立法例ヲ考ヘテ見タノデス、段々調ベテ見マシタガ、社會事業法ノ第十六條ノ罰則規定ト同趣旨ノ罰則規定、即チ自己ノ指揮セザル者ニ對シテ責任ヲ持タス——指揮セザル所ノ從業者ニ責任ヲ持タシタリ、或ハ自分ハ惡意デモナイ、故意デモナイト云フコトガ明デアルニ拘ラズ、其從業者ノシタ事ニ付テ責任ヲ負フト云フコトハ、苛酷ダト云フコトニ付テ、色々立法例ヲ調べテ見マシタ、所ガ相當アリマス、是ガ宜イト云フノデアリマセヌヨ、是ガ宜イカラ此方モ宜イト申スノデアリマセヌガ、先ヅ帝國ノ法律トシテハ、斯ウ云フ行政犯ニ對シテハ、或ル程度マデノ制裁ヲ附ケルコトガ宜カラウ、併シ此中ニハ又非常ニ惡意的、計畫的ニヤル者モアリマスカラ、最高標準三百圓トシテ、最低ハ十圓カラ五圓マデモ出來ルカモ知レマセヌ、ソコハ裁判官ノ裁量ニ委シタ方ガ宜カラウト云フノデ、單ニ此社會事業ノ性質カラ見テ、御話ノヤウナ點モ考ヘラレマシタガ、先ヅ一般ノ立法例ニ依ツテ斯ノ如クシタノデアリマス、是ハ一ツノ御參考トシテ申上ゲルノデ、ソレガ宜イカラ此方モ宜イト云フ意味デハナイト云フコトヲ、特ニ申上ゲテ置キマス

○鈴木委員 同ジコトヲ繰返サヤウデアリマスケレドモ、私ハドウモ首尾一貫シテ居ラナイヤウニ思フノデス、一方ニ於テハ届出主義ト云フ、頗ル自由ナ方法ヲ執ツテ居リナガラ、一方ニ於テハ可ナリ嚴罰ト目セラレ、所ノ法制ヲ採ラレルト云フコトハ、ドウモ首尾ガ一貫セズシテ、一方ハ輕クテ一方ハ重イト云フ風ナ非難ヲ免レナイト思フノデス、私ハ届出主義ニ依ツテ社會事業ヲ御取締ニナルコトハ非常ニ結構デアルト思ヒマス、元來ガ慈眼愛憐ノ精神ニ依ツテ社會事業ヲ經營スルト云フノガ當リ前デアリマス、其意味ニ於テ届出主義ト云フ風ナ寛大ナ方針ヲ執ラレルコトハ、至當デアルト思ヒマスケレドモ、一方ニ届出主義ヲ執ラレテ居ルヤウナ様子デアリナガラ、一方ニ於テハ即チ苛酷ト思ハレル所ノ制裁ヲ附加ヘルト云フコトハ、是ハ他ノ行政法規ノ立法例ノ如何ヲ問ハズ致シマシテ、新シク立法スルニ付テハ、私ハ甚ダ不當デアルト思ヒマスシ、ノミナラズ行政上ノ立法ト致シマシテハ、少シ酷ニ過ギハシナイカト、斯ウ云フ風ナ感じラスルノデアリマス、惡イ事ヲスル者モアリマセウ、是ハ無論アルト思フノデス、思フノデスケレドモ、惡イ事ヲスル者ハ百人ニ一人、千人ニ一人アルカナイカト云フ風ナ場合デアリマシテ、百人ニ一人カ、千人ニ

一人カト云フ所ノ人ヲ目標トシテ罰則ヲ設ケタノデハ、外ノ善意デシテ居ル所ノ社會事業家ト云フ者ハ、頗ル迷惑スルヤウナ立場ニナラザルヲ得ナイト思フノデアリマス、私ハ此點ニ付キマシテ、法律上矛盾シタ所ノ點ガアルト云フ感じヲ持ツテ居リマスカラ、尙ホ一層御考ニナリマシテ、私ノ意見ニ御同意デアリマスカラバ、當然此罰則等ハ、モウ少シ限度ヲ減ラシテ御設ケニナルコトガ必要デアルト思フノデアリマス

○服部委員長 只今拓務省ノ政府委員ガ參ラレマシタカラ、此機會ニ先刻ノ質問ヲ致サレタラドウカト思ヒマス

○工藤政府委員 其前ニ一寸御答致シマス、御説ノ點ハ極メテ明瞭ニ頭ニ入ツテ居リマスカラ、ドウ云フ工合ニシタラバ宜イカ、御希望モアリマセウケレドモ、先ヅ大體ノ立法ノ趣旨ダケヲ、特ニ一ツ御考ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、マダ議論ガマシイコトヲ言フ時機ニ達シテ居リマセヌカラ、唯此點ダケヲ申上ゲテ置キマス

○山崎政府委員 一寸政務次官ノ御答ニ補足シテ申上ゲマス、罰則ノ點ニ付キマシテ、鈴木サンカラ色々御意見ガゴザイマシタノデ、申上ゲテ置キタイト思フノデアリマスカラ、此罰則ハ御覽ノ通りニ、極メテ特殊ナ

場合ダケノ規定デアルノデアリマス、即チ
寄附金募集ニ關スルモノ、社會事業ノ經營
ノ禁止又ハ制限ニ從ハナカッタ場合、此二ツ
ノ場合ニ限ラレテ居ル譯デゴザイマス、考
方トシマシテハ、或ハ其他ノ點ニ付キマシ
テモ、罰則ト云フヤウナコトガ考ヘラレル
ノデアリマスルケレドモ、先程カラ段々政務
次官ヨリ御説明ノゴザイマシタヤウニ、社
會事業ノ本質ニ鑑ミマシテ、極メテ例外的
ノ場合ダケニ限ッテアルコトヲ、御諒承願ッ
テ置キタイト考ヘルノデアリマス

○鈴木委員　デゴザイマスルケレドモ、社
會事業ヲ經營シテ居リマス、一々法律規
則ニノミ囚ハレテハ居ラレナイヤウナ事情
モアルノデアリマス、又法律規則ヲ能ク理解
セズシテヤルヤウナ場合モアルノデス、又
寄附金等ノ場合ニ付テハ、是ハ始終様々ナ
間違ヒガ起ッテ、本人ノ意思ニアラズシテ非
常ナ間違ヒヲ起スヤウナコトガ、隨分アル
ト思フノデゴザイマス、其様ナ場合ニ一々
此通りノ制裁ヲ受ケマシテハ、非常ナ迷惑
ヲ蒙ルコトガアルト思フ、即チ實際法律ヲ
犯シテ居ルトカ、或ハ寄附金募集ノ上デ不
正ナコトヲ働クトカ云フヤウナ意味ニ於テ、
罰則ヲ置クノハ是ハ當リ前ノコトデアリマ
スルケレドモ、ホンノ些細ナ手續上ノ間違

ヒヤナンカノ爲ニ、迷惑ヲ蒙ルヤウナコ
トガアリマシテハ、是ハ大變ダと思ヒマシ
テ念ノ爲ニ申上ゲタノデアリマス、ソレカ
ラ拓務省ノ政府委員ガオ出デナリマシタ
カラ御尋致シマス、私ハ本法ノ適用ニ付キ
マシテ、外地關係即チ朝鮮、臺灣、樺太、
南洋等ニ於ケル社會事業ノ統制保護ニ關ス
ル所ノ方針ハ、ドウカト云フコトヲ御尋申
上ゲタイノデアリマス、法律上カラ申シマ
スルナラバ、是等ノ社會事業ノ統制ハ、此
法律ノ及ブ所デナイカラ、是ハ如何トモス
ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ風ナ意味ノ御
答辯ガアツタノデゴザイマスルガ、此點ニ付
テ如何デゴザイマセウ、尙ホ更ニ關東州ニ
於テハ、ドノヤウナ風ニ社會事業ノ統制保
護ガ行ハレテ居ルカ、此點ニ付テ御尋致シ
タイノデアリマス

○棟居政府委員　只今ノ御尋ニ對シテ御答
申上ゲマス、朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島
ガ拓務省所管ニナツテ居リマスノデ、ソレ等
ノ地域ニ付テ御答申上ゲマス、何分御承知
ト思ヒマスルケレドモ、外地ハ總テノ事情ガ内
地ニ比シテ遅レテ居リマシテ、政府ノ施設致シ
マスコトモ、比較的貧弱ナ財政ノ範圍内デ、
色々ノ方面ノ施設ヲ改善擴充シテ居ル狀態デ
アリマシテ、社會事業ニ關シテ政府ノ投

ジマス經費モ、甚ダ申上ゲ兼ねル程度ニ貧
弱デアリマス、内地ニ比シテ此方面ニ對ス
ル諸般ノ設備ガ遅レテ居ルコトハ、洵ニ遺
憾ニ存ジテ居リマスガ、併シ出來ル限りノ
コトハ致シテ參ッテ來テ居ルノデアリマス、
民間方面ノ有志者ノ經營モ相當發達シテ參
テ居リマス、御下賜金モ戴キ、又政府ノ經
費モ一部分補助シ、或ハ慶福會等カラモ幾
分ノ助成ヲ仰ギマシテ、ボツ／＼玉石取捨致
シマシテ、整備ヲ圖ッテ居リマス、朝鮮ハ
今ノ政務總監ガ元社會局出ノ方デアリマシ
テ、社會事業ニハ御熱心デアリマシテ、一
昨年社會事業調査委員會ト云フモノヲ作ル
コトニナツテ居リマシタケレドモ、尙ホ一層

檢討ヲ加ヘ、自分デ考ヘテ見タイト云フヤ
ウナ御意向デ、暫ク是ハ留保ニナツタノデア
リマスガ、其後社會課ト云フモノヲ內務局
ノ中ニ特ニ設ケマシテ、從來ハ學務局ノ中
ニ社會課ト云フモノガアリマシテ、社會教
育ノ方ト一緒ニナツテ居リマシタノヲ、內務
局内ニ特別ニ社會課ヲ設ケマシテ、此方面
ニ更ニ努力セネバナラヌト云フ心組デ、今
色々ト計畫ヲサレテ居リマスノデ、更ニ段々
面目ヲ改メテ來ルノデハナイカト考ヘテ
居リマス、臺灣ニ付テハ格別申上ゲル程ノ
コトハナイノデアリマスガ、臺灣ハ稍、財政

力モ餘裕ガアリマスノデ、昨年ハ癩豫防法
ニ付テ、又今年ハ結核豫防法ト云フコトニ
付テ、内地ノ法律ヲ其儘施行シテ來タト云
フヤウナコトニナツテ居リマス、申ス迄モナ
イト思ヒマスガ、外地ノ住民ノ民族性ト云
フモノニ付テハ、相當考慮セネバナラス點
ガアリマス、餘リマダ社會或ハ文化狀態等
ガ進ンデ參リマセヌ内ニ、社會事業ヲ内地
式ニヤルコトニ付キマシテハ、多少利弊ニ
付テ檢討ヲ要スル點ガアリハセヌカト思ヒ
マスノデ、臺灣、朝鮮等ノ外地ニ即應シテ
施設ヲヤツテ行カナケレバナラヌト思ヒマ
ス、樺太ハ内地人バカリデアリマシテ、別
ニ問題ハナイノデアリマスガ、サシタル設
備ガナイノデ甚ダ遺憾ニ思ッテ居リマス、南
洋群島ハ主トシテ宗教團體、從來ハ「ミッ
ション」、最近ハ佛教等ノ力デヤラレテ居リマ
ス、是亦相當ノ助成金ヲ出シテ居リマスガ、
何レモ甚ダ貧弱デアリマス、將來ニ向ッテハ
更ニ整備改善ヲ期セネバナラヌト考ヘテ居
リマス、此法律ヲ施行致シマスコトハ、此
法律ノ立前上、朝鮮ニハ少シ無理ト思ヒマ
ス、主務大臣ト云フ言葉ガアリマスノデ、
其儘施行サレマセヌノデ、内地ノ運用ノ實
績ヲ十分ニ徴シタ上デ、制令デ法的根據ヲ
與ヘルヤウニ致シタイ、臺灣、樺太ハ大體

勅令で特例が設けられマスルノデ、是亦適當ナ時機ニ施行スルヤウニ考ヘテ参リタイ

ト思ッテ居リマス、南洋ハマダ少シ早クハナ

イカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、十分外地

ノ狀況ヲ適當ナ方法デ色々ナ時期ニ調ベマ

シタ上デ、御意見ノ通りニ成ベク法的根據

ヲ與ヘルヤウナ風ニ致シタイト考ヘテ居リ

マス、關東州ハ對滿事務局ノ方ノ關係デア

リマスカラ、對滿事務局ノ方カラ御答スル

コトニ致シマス

○鈴木委員 概數デ宜シウゴザイマスガ、

今私ノ申上ゲマシタ朝鮮、臺灣、樺太、南

洋等ニ於ケル社會事業ノ種類、數、竝ニ經

營ノ費用、竝ニ助成金等ハ、ドノ位ニナッテ

居ルノデゴザイマセウカ

○樺居政府委員 只今持ッテ居リマセスカ

ラ、直ぐ様本日中ニデモ調べマシテ、御手

許ニ差上ゲマス

○鈴木委員 私ハ此問題ニ付テ先程ノ持説

ヲ繰返ス譯デゴザイマスガ、社會事業關係

ニ於テ、各方面ト連絡統一ヲ圖ル意味ニ於

テ、摩擦相剋等ノナイヤウナ意味ニ於テ、

色々ナコトヲ圖ル必要ガアルト思ヒマス

カラ、厚生省ナルモノハ國家ノ必要ナル

機關トシテ設ケマシタル以上ハ、是ハ臺

灣デアラウト、朝鮮デアラウト、何處デ

アラウトニ拘ラズ、總テ同ジ種類ノ事業

デアリマスノデ、同ジ種類ノ事業デアリ

マスカラバ、必ズ大體厚生省ノ手ガ及ブ

ト云フヤウナ風ニシナケレバ駄目デアルト

思フ、將來滿洲國ト云フノハ、マア日本ノ

保護國同様ノ立場ニアルト思ヒマスルガ、

北支アリ、中支アリ、南支アリト云フ風ナ

譯デ、段々日本ノ所管ノ關係ノ國柄ガ多ク

ナルダラウト思ヒマス、多クナル時ニ、社

會事業ダケハソレ等ノ地方々々ノ事情ニ應

ジナケレバナラナイト云フノデ以テ、社會

事業官制ノ自主權ト云フモノヲバ、ソレ等

ノ地方ニ與ヘテヤッテ行クノデアリマシテ

ハ、厚生省ノ事業ガ縮ム一方デアル、ソレ

故ニ私ハ此意味ニ於テ、朝鮮デアラウト、

臺灣デアラウト、樺太デアラウト、南洋デ

アラウト、能ク其事情ヲ調査致シマシテ、

厚生省ニ於テ出來ル限り、厚生省自體ノ仕

事ト云フモノガ、ウント其方ニモ殖エテ行

クヤウナ風ニ爲サラナケレバナラナイト思

フノデアリマス、是ハ私ノ希望デゴザイマ

スカラ、ソレダケニ止メテ置キマス、尙ホ

其次デゴザイマスガ、逐條ノ第三條デゴザ

イマス、第三條ノ中ニ「地方長官ハ社會事

業ヲ經營スル者ニ對シ保護ヲ要スル者ノ收

容ヲ委託スルコトヲ得」ト書イデアリマス、

委託スル時ニ於テ報酬ヲ與ヘルノデアル

カ、報酬ヲ與ヘナイノデアルカ、此點ニ付

テ御伺ヲ致シタイノデアリマス

○山崎政府委員 第三條ノ地方長官ガ社會

事業ヲ經營スル者ニ對シ保護ヲ要スル者ノ

收容ヲ委託スル場合ニハ、必シモ報酬ヲ支

拂フト云フコトヲ前提トハ考ヘテ居ラナイ

ノデアリマス、唯併ナガラ私設社會事業等

ニ於キマシテ、經營ガ非常ニ困難デアリ、

而モ他ニ委託スルヤウナ場所ガナイト云フ

ヤウナ場合ニハ、委託料ヲ出シテモ收容ヲ

依頼スルト云フコトハ、豫想致シテ居リマ

ス

○鈴木委員 其委託料ノコトデゴザイマス

ガ、委託料ニ付テ一定ノ標準ガゴザイマス

ルカ、地方々々ニ依ッテ事情モ違フデアリ

マセウシ、物價等モ違フデアリマセウケレ

ドモ、委託料ニ付テ一定ノ標準ガゴザイマ

スカ

○山崎政府委員 委託料ニ付キマシテハ、

事業ノ種類ニ依リマシテモ自ラ差等ガゴザ

イマスノデアリマス、大體經營ヲ致シテ居

リマスル事業ノ成績ヲ見マスルト、一人當

リニドノ位ノ經費ガ一日要スルカト云フ見

當ガ付キマスノデ、ソレヲ標準ニ致シマシ

テ、委託料ヲ支拂フ場合ニ、其標準ノ下ニ

ヤッテ行クコトニシテ居リマス

○鈴木委員 委託料ガ全體ノ人ノ平均數デ

行クト云フヤウナコトハ、非常ナ間違ヒデ

ヤナイカト思フ、ソレハ即チ其全體ノ費用

デ賄ッテ居ル所ニセヨ、生活費ト云フモノノ

根源ハ何處ニアリマスカ、生活費ト云フモ

ノハドレダケ掛ルカ、療養費ガドレダケ掛

ルカト云フコトニ付テ、科學的ノ標準ガナ

ケレバ決ラナイト思フ、例ヘバ或所ニ於テ

ハ一日三十錢ヲ必要ノ費用ト致シテ居ルト

致シマシテモ、三十錢デハ足ルカ足ラナイ

カト云フコトニ付テハ、是ハ非常ナ問題デ

アル、ドレダケノ榮養分ヲ攝ッテ、ドウ云

フ料理法ヲヤッテ、サウシテ三十錢ヲ使フ

コトガ最も必要デアルト、斯ウ云フヤウナ

方法ニ依ル所ノ科學的ノ標準ガ決マラズシ

テ、徒ニ收容人員ニ依ル所ノ費用ノ平均數

ヲ以テ委託料ヲ決メルト云フコトハ、非常

ナ間違ヒデヤナイカト思ヒマス、ソレデハ

ナラナイト思ヒマス、此點ニ付テ生活費ガ

ドウ、療養費ガドウト云フコトニ付テ、科

學的ノ標準ガ決ッテ居リマセウカ、決ッテ居

ラナケレバ、是ハ非常ナ手拔カリデアルト

思ヒマス、其點ニ付テ伺ヒマス

○山崎政府委員 施設ニ依リマシテハ、相

當行届イタ場合ニハ、細カイ調査ヲ致シマ

シテ、其生活費ノ中食料ノ榮養價值トカ、サウ云フコト迄調査ヲ致シマシテ、大體ノ經費ヲ出シテ居ルヤウナ施設モアルデアリマセウ、併ナガラ御承知ノ通り全體ノ社會事業ヲ見マス、其内容モ極メテ區々デアリ、又非常ニ貧弱ナモノモ多イノデアリマシテ、其處マデ十分ニ調査ヲ致シテ經費ノ支出ヲ致スト云フ迄ニハ至ッテナイノデアリマス、將來是等ノ點ニ付キマシテモ、十分中央ニ於テモ、地方廳ニ於テモ、斯ウ云フ點マデ調査ヲ致シテヤルコトガ、私共トシマシテモ望マシイコトトハ考ヘマスケレドモ、現狀ニ於テハ其程度ニ至ッテ居ナイコトハ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス

○鈴木委員 サウ云フ御話デゴザイマスレバ、致シ方ガナイト思フノデゴザイマススケレドモ、之ニ付テハ最モ必要ナ根本ノ調査ヲシテ戴キタイ、日本ニ於テハ生活費ガ幾ラ掛ルカト云フコトニ付テモ、殆ド何處ノ方面ニモ調査ガナイノデアリマスカラ、社會事業ダケニ望ムコトハ無理デアルト思ヒマススケレドモ、此點ニ付テノ調査ガナケレバ、社會事業ト云フヤウナ劣惡ナ素質ヲ持ッテ居ル所ノモノニ付キマシテハ、榮養ト云フコトガ非常ニ重大ナル關係ガアリマスノ

デ、此點ニ付キマシテハ最低限度ドレダケノ榮養ガ必要デアルカ、ドレダケ榮養費ガ掛ルカト云フコトノ調査ヲナサルコトガ、最モ必要ナル所ノ厚生省ノ事業ノ一ツデアルト思フノデアリマス、是ハ是非厚生省ニ於テ御調査ニナリマシテ、御調査ノ結果ヲ發表ナサルコトヲ希望致スノデアリマス、ソレカラ更ニ私ハ考ヘマスノニ、貧弱ナ所ノ社會事業ニ於テ、例ヘバ人ヲ收容スルト云フコトニナリマシタ時ニ、一室ニ於テドレダケノ人ヲ收容スルコトガ最モ宜イト思召シニナルカ、一室ト申シマス、疊一疊、或ハ二疊デモ宜イノデアリマススケレドモ、ドレダケノ人ヲドレダケノ程度ニ於テ收容スルコトガ宜イノカ、即チドレダケノ人ガ

寢泊リスル室ノ空氣ハ、ドレダケノ立方メートルガ必要デアルカト云フコトニ付テノ調査モゴザイマセヌネ、ナイト思フノデアリマシタガ、是ガゴザイマスガ、

○山崎政府委員 現在ノ制度ニ於テ施設ノ認可ヲ致シマスノニハ、救護法ニ依リマスル救護施設、母子保護法ニ依リマスル母子保護施設、是ハ建築ノ認可ヲ致シマス、其際ニハ社會事業専門ノ技師ガ居リマシテ、其施設ノ内容ヲ十分調査スルコトニナッテ居リマス、唯併ナガラ只今御尋ノヤウニ、

ドレダケノ人數ニ對シテハ、ドレダケノ廣サガナケレバナラスカト云フコトマデ、細カイ標準ハ別段研究シタモノガ現在ノ所ゴザイマセヌ

○鈴木委員 ソレヲ定メルコトガ必要ナコトデナイデセウカ、是ハ私ハ何モ諸外國ヲ見テ來タカラ、通ガッテ言フ譯デハアリマセスケレドモ、諸外國ノ社會事業ハ、何處トシテ此點ノ調査ガナイ所ハアリマセヌ、生活費ガドレダケ掛ルトカ、ドレダケノ榮養費ガ必要デアルトカ、ドレダケノ立方尺ノ空氣ガ必要デアルトカ云フコトヲ決メテ居ラナイ所ハ殆ドナイ、而モ日本ダケガサウ云フコトヲ決メテナイト云フコトハ、頗ル遺憾ニ堪ヘナイト思フト同時ニ、洵ニ驚入ッタ所ノ處置デアルト思フノデアリマス、此點ニ付テノ調査ガナイトスルナラバ、例ヘテ申シマス、六疊ニ四人ヲ收容シテ居ルト致シマス時ニ、此委託ノ場合デアリマスガ、今一人位委託ショウト云ウテ委託シテ來ル、サウ云フ場合ニ委託スルコトガ合理的デア

デアリマスガ、此點ニ付テノ御意見如何デゴザイマス

○工藤政府委員 衣食住ニ關シテノ科學的ノ研究竝ニ統計ノ不完全ダト云フコトハ、ヤハリ社會事業ノ發達セザル一ツノ現象ト見テ宜カラウト思ヒマス、尤モ鈴木委員ハ時々外國ニ行ッテ、其點ニ付テハ卓越シタ才能ヲ以テ御調査ニナッテ居ルコトハ、私共尊敬シテ居ル一人デアリマスガ、マア厚生省ノ生レタコトモ、サウ云フコトノ必要カラダラウト思フノデス、住宅ニシテモ、歩イテ見ルト随分ヒドイ所ガアル、私モ相當貧乏ノ味ハ覺エテ居リマスガ、實際社會ニハ食物デモ、著物デモ、ヒドイ生活ヲシテ居ル人々ノアルコトヲ知ッテ居リマス、私ノ友人ニ佐伯矩ト云フ人ガアッテ、二十年モ實際シテ居リマシテ、色々ナ話ヲ聞カサレテ居リマシタガ何シロ當時ハ批評スル側デ、實行スル側ニ立タナカッタガ、洵ニ尤ナ話デアルト思ッテ居リマシタ、併シ新ニ厚生省ガ生レテ、大臣モ出タ以上ハ、將來ハ大イニサウ云フ科學的ナ基礎ノ下ニ、一切ノ施設ヲヤッテ行クコトニ努力致シタイト思ヒマスガ、遺憾ナガラ今ノ所デハ四疊半ニ三人デハドウダトカ、食物ハ是位ノ「カロリー」ガ無ケレバイカストカ、或ハ近頃ハ綿ノ節約ノ爲ニ、種々

ノ衣服ノ問題モ起ッテ居ルノデ、是ハ相當研究シナケレバナラヌ問題ダラウト思ヒマス、ドウゾ今後ニ於ケル厚生省ノ、サウ云フ方面ニ努力スル原動力トナッテ、御鞭撻ヲ願フコトニシテ、其問題ハ此程度ニ御諒解ヲ願フコトニ致シマス

○鈴木委員 洵ニ巧ミナル工藤政務次官ノ御答ニ満足致シマシテ、是非左様ニ御努力ヲ御願申上ゲルノデゴザイマス、ソレカラ第五條ノ寄附金募集ノコトデゴザイマス、寄附金募集ト云フコトハ、大變面倒ナ事柄デアリマシテ、隨テ寄附金募集ニ付テハ、詳細ニ御規定ニナッタヤウナ事情デゴザイマセウガ、私ハ之ヲ各新聞社ニ委託スルトカ、或ハ公共機關ニ委託スル、或ハ放送當局等ニ委託致シマシテ、是等ノ機關ヲ常時組織ノ中ニ包藏活用シテ、一般公募ニ代ラシムルコトニ依ッテ、寄附濫用ヲ防イデ、其ノ間ニ不正ノナイヤウニスルト云フコトガ、寧ロ宜イノデハナカラウカ、社會事業家ガ銘々自分ノ事業ヲ整ヘマス爲ニ寄附金ヲ募集スルコトハ、勿論御承知ノ通りデゴザイマスガ、寄附金ヲ募集スル際ニ、何等ノ監査機關モ監督機關モナク、勝手ニ方法ヲ講ジテ寄附金ヲ募集スルト云フコトニナレバ、寄附金ヲ募集スルニドレダケ費用ヲ使ヒ、

ドレダケ餘ッタモノヲドウ使ヒマスト云フコトハ、官廳ニ届出ハスルデアリマセウガ、其届出ガ正當デアルカドウカト云フコトハ、殆ド判別スルコトガ出来ナイヤウナ事情ガ、往々ニシテアルト思フノデアリマス、隨テ私ハ新聞社、或ハ放送機關、公共機關等ニ委託スル方ガ寧ロ面倒ガナクテ、比較的公正ニ行ハレルト云フ意味ニ於テ、最モ宜イ方法デハナイカト思フノデアリマス、是ハ一ツノ參考資料ト致シテ、厚生省ニ提出致シタイト思フノデアリマスガ、能ク御考ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

○工藤政府委員 此間書畫ヲ賣ッテ寄附金ヲ集メルト云フ、大變便利ナ御話モゴザイマシタシ、又他ノ委員カラモ別ノ方法ノ御開陳ガアリ、只今ハ又鈴木サンカラ大變有益ナ方法ヲ授ケテ戴キマシタガ、サウ云フヤウナ工合ニ公衆ノ監視ノ下ニ寄附金ヲ募集スルト云フコトハ、極メテ公正デアッテ、世間ノ人モ之ニ依ッテ安心シテ寄附ヲスルデアラウト思フノデ、御趣旨ハ洵ニ結構ダト思ヒマス、有ユル良イ便法ヲ利用シテ、社會事業ノ發達ノ爲ニ努力シタイト考ヘテ居リマスカラ、ドウゾ御體驗ノアル方々ノ御名案ダケハ、是非一ツ咨ミナク御聽カセアラントコトヲ御願シマス

○鈴木委員 私ハ政府ガ此社會事業ヲ助長獎勵ヲナサルニ當ッテ、地方税ヲ免除スルコトニ付テハ規定シテアリマス、併シ國税ヲ免除スル所ノ規定ハ何處ニモナイト思ヒマスガ、國税ハ免除サレマスカサレマセスカ、其點ニ付テ御伺シタイノデアリマス

○山崎政府委員 本法ノ第十條ニ掲ゲテ居リマスヤウニ、社會事業ノ土地建物ニ對シテハ、國税ノ免除ガ除外セラレテ居ルノデアリマシテ、此第十條デハ御覽ノ通りニ、地方税其他地方ノ公課ノ免除ダケニ限ラレテ居ルノデアリマス、此立法ハ從來ノ社會事業ニ關スル法制、或ハ救護法、或ハ少年教護法等ノ例ニ依ッタノデアリマス、國税ノ免除ニ付キマシテハ、社會事業ノ立場カラ考ヘマスレバ望マシイコトデハゴザイマスケレドモ、他ノ公益事業ノ關係モゴザイマシテ、實現スルコトガ困難ナ事情ニアルノデアリマス、唯土地建物ノ税ニ付キマシテハ、或ハソレガ公益法人ノ經營スル場合ニハ限りマスケレドモ、所得税其他ニ付テハ、税ノ規定ニ依リマシテ是ガ免除サレルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス

○鈴木委員 サウ致シマスト、國税ノ中デ或モノハ免除サレ、或モノハ免除サレナイコトニナリマスカ、地方税ニ付テハ悉ク免除サレマスケレドモ、國税ハサウデハナイノデゴザイマスカ、其點ガ能ク分ラヌカラ伺ヒタイ

○山崎政府委員 只今御尋ノ通りデゴザイマシテ、國税ノ中デ、殊ニ地租、登録税ニ付テハ、免税ガ出来ナイコトニナッテ居リマス、是ハ只今申上ゲタヤウニ、他ノ公益事業トノ均衡モ勿論ゴザイマスノデ、遂ニ實現ヲ見ナカッタヤウナ次第デゴザイマス

○鈴木委員 私ガ申ス迄モナク、社會事業ハ營利ヲ目的トシナイ事業デアルコトハ明瞭ナコトデアリマスカラ、登録税其他ノ税金ト雖モ、悉ク國税モ免除サレルコトガ至當デアルト思フガ、地方税ニ於テハ悉ク免税サレ、國税ニ於テハ免税サレルモノモアリ、免税サレナイモノモアルト云フコトハ、行政機關ノ不統一デアルト思フ、此點ニ付テモ是非統一セラレタル方針ヲ御執リニナリマシテ、免税サレルヤウニ願ヒタイ、他ノ公益事業トノ關係モアルト云フコトデゴザイマスガ、他ノ公益事業トノ關係ヲ能ク御研究ニナリマシテ、國税モ地方税モ悉ク社會事業ト云フ立前カラ、免税サレルヤウニ御直シニナッテ戴キタイノデアリマスカ、御直シニナルコトガ出来マセウカ出来マセスカ、其點ヲ御伺シタイノデアリマス

○工藤政府委員 本案ヲ起案スルニ當ツテ、

事務當局ノ方カラ大藏大臣其他ノ方面ニモ相當熱心ニ交渉シテ見タノデアリマスガ、大藏當局ハ又大藏當局ノ從來ノ立前カラ主張致シマスノデ、洵ニ遺憾ナガラ其點ニ付テハ、地租其他ヲ免除スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、洵ニ御説ノ如ク、斯ウ云フ種類ノモノニ國家ハ國費ヲ投ジテ獎勵シテ行カナケレバナラス、斯様ナ事業ニ國稅ヲ徵收スルコトノ不合理ナルコトハ論ガナク、貴族院ニ於テモ、衆議院ニ於テモ、輿論ハモウ決ツテ居ルノデアリマスガ、政府ノ一部ニ、其鍵ヲ握ツテ居ル大藏省ガ餘リ賛成シナイモノデアリマスカラ、喧嘩ヲシテ物別レニナルノモ困リマスカラ、マア一ツ時ノ來ルマデ此儘ニシテ置カウ、併シ漸次其方向ニ向ツテ進ムヤウニ努メタイト思ッテ居リマスガ、何シロ新店デ、マダ十分總テノ準備ガ整ツテ居ラナイ厚生省デアリマスルノデ、餘リ他省ニ對シテモ力ガナイノヲ遺憾ト致シテ居リマスガ、極力勉強シテ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○鈴木委員 工藤政務次官ノ御話ノ通りデ

ゴザイマス、是ハドウシテモ全部免稅ト云フコトニナラナケレバ噓デアルト思ヒマス、一方ニ於テ保護助成ヲヤッテ置イテ、一

方ニ於テ取ル、一方ニ於テ締メテ置イテ、

一方ニ於テ弛メルト云フヤウナコトハ、是ハドウモ行政ノ統一ト云フ點カラ云フテモ、アリ得ベカラザルコトデアアル、アリ得ベカラザルコトガ、日本ノ國ニハアルノデスカラ、日本ノ國ニアルト云フコトガ、矛盾極マツタ現象デアルト思フノデゴザイマシテ、一日モ早く此事業ト云フモノガ全部免稅ニナルヤウナコトニ、一生懸命ニ厚生省ノ御努力アルコトヲ希望致シマス、殊ニ此點ニ付テ御熱心ナル所ノ工藤政務次官閣下ガ、最モ熱心ニ此點ニ付テ御努力アルコトヲ希望致シマス、是ハドウモ議會ノアル時ダケ熱心ナヤウナ顔ヲシマシテ、議會ガナクナツテシマフト熱心ニナラナイヤウナ顔ヲスルコトガ、往々此種類ノコトニアリマスカラ、私ハ特ニ念ヲ入レテ、釘ヲ打ッテ、此點ヲ申上ゲテ置クノデゴザイマス

○工藤政府委員 同僚デアリマスルカラ、

サウ釘ヲ打ッテ戴カヌデモ十分聽イテ居リマスルガ、議會ノ輿論ト云フモノハ既ニ定ツテ居ル、議會ノアル間騷グト云フノハ、要スルニ議會ノアル間ハ表面ニ現レルノデスケレドモ、中々役所ニ僅カノ間入ッテ見ルト、内面的ナ苦勞ガ相當アルヤウデス、今度私モヤハリ内面的ノ苦勞ヲシタ外ニ、更

ニ議會デ表面的ニ苦勞ヲシテ居リマスガ、皆サンニ一ツ協力ヲ願ツテ、此輿論ダケハ徐々デモ宜イカラ、少シヅ、デモ行政官府ニ反映セシメルト云フコトニ、實ハ努力シタイト思ッテ入ッテ居ルヤウナ次第デアリマスルノデ、ドウゾ御鞭撻ヲ偏ニ御願スルヤウナ次第デアリマス

○鈴木委員 私人質問ハ此程度デ終リト致

シマス

○庄司委員 今ノ關聯ノコトデ――極ク簡

單デゴザイマス、只今鈴木サンカラ最モ詳細ニ縷々有益ナ御質問ノアツタ譯デアリマスガ、私ハ斯ウ云フコトモ關聯事項トシテ、厚生省當局ニ御尋シテ置キタイト思ヒマス、前回申上ゲタヤウナ次第デ、社會事業ノ爲ニ非常ニ貢獻サレタ方々ニ對スル何等カ表彰デアルトカ、サウ云フヤウナコトノ御考ハゴザイマセスデセウカ、例ヘバ假ニ一萬圓社會事業ニ寄附シタト云フヤウナ人ハ、賞勳局ノ規定ニ依ツテ、紺綬褒章ノ授與ト云フヤウナコトハ、既定ノ事實デゴザイマスルガ、例ヘバ賀川豐彦氏ノ御夫人ガ、或ハ癩病患者デアルトカ、或ハ其他傳染病患者デアルトカニ、自ラ手ヲ下シテ診療、或ハ治療ニ從事サレテ、數年前、或ハ十數年前デシタカ、

殆ド兩眼ガ失明狀態ニマデナツタト云フコトヲ聞イテ居リマス、自ラガサウ云フ社會事業ノ第一線ニ立ツテ健康ヲ害スル、或ハ其爲ニ生命ヲ捨テルト云フヤウナ、サウ云フ悲壯ナ、社會事業界ノ爲ニ全ク殉職スルト云フ程度ノ偉イ方ガ相當アルト思ヒマス、サウ云フヤウナ金ヲ何萬圓寄附シタト云フヤウナコト以上ニ、一生ヲ犠牲ニ供シテ居ル社會事業家等ニ對シテ、何等カ精神的ニ慰安スルナリ、或ハ感謝スルト云フヤウナ方法ガ、厚生省御當局ニハアリマセヌカ、固ヨリ社會事業者ハ、決シテサウ云フ表彰ヤ、授章ヲ望ンデ居リマセヌケレドモ、相當考ヘテ戴ク必要ガアルト思ッテ參考ノ爲ニ伺ヒマス

○工藤政府委員 庄司委員ノ御考ハ洵ニ當

然ナコトデアリマシテ、斯様ナル篤志家ニ對シマシテハ、從來ソレノ方法ニ依ツテ、其人ノ名譽ヲ表ハシテ居リマス、御話ノ通り、別段人爵ヲ目的ニ左様ナル慈善事業、或ハ社會事業ヲヤッテ居ル方デハナイノデアリマスケレドモ、是ハヤハリ國家或ハ社會ノ義務トシテ、左様ナルコトヲソレ相當ニシテ居リマス、畏多クモ宮中ニ於カセラレテハ、或ル機會ニ於テ特ニ左様ナル人ヲ御召シニナツテ、皇室ノ思召ヲモ亦傳ヘテ

戴クヤウナコトモアリマシタシ、或ハ慶福會ナドデ、之ヲ表彰スルト云フコトモアリマセウシ、今後更ニ進ンデ此法律ガ出來マシタ以上ハ、特ニサウ云フ善良ナル篤志家ニ對シマシテハ、何等カノ方法ヲ以テ國家ハ表彰スルコトガ必要デハナイカ、サウ云フ機會ヲ私ハ作リタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 資料ノ要求ヲ致シタイト思ヒマス、今年度及ビ明年度ノ豫算ノ内容デアリマス、色々分レテ居ルヤウデアリマスガ、此内容ヲ御示シ願ヒタイ、モウ一ツハ、無醫村ニ對スル施設計畫デアリマス、同時ニ成績ノ概要ヲ一ツ御願致シタイト思ヒマス

○土屋委員 私ハ議事進行ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、此社會事業法ニ對スル政府ノ豫算ハ、其名ハ立派デアルガ、其實ハ非常ニ廣汎デアルニ拘ラズ、政府ノ出ス金ハ非常ニ少イ、ソレデ此質問ノ終リマスル迄ニ、是非大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ、十分意見ノ交換ヲ致シタイト思ヒマスカラ、適當ナ機會ニ大藏大臣ノ出席ガアルヤウニ、委員長ニ於テ御取計ヒアラシコトヲ願ヒマス

○服部委員長 土屋君ノ御申出ハ適當ニ取計フコトニ致シマス、是デ休憩ヲ致シマス、午後ハ本委員會ニ併託ニナリマスル職業紹

介所ノ案ガ、本會議ニ提案サレルコトニナツテ居リマスノデ、大體ソレガ提案ヲ終ッテカラ、午後ノ會議ヲ開キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、大體午後ノ三時頃ニナルト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

午前十一時四十八分休憩
午後三時十分開議

○服部委員長 午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、會議ニ先ダッテ皆サンニ御諮リ致シタイコトガゴザイマス、理事ノ古田喜三太君ガ御辭任ニナリマシタノデ、是カラ理事ノ補闕選舉ヲ行ヒタイト思フノデアリマス、先例ニ依リマシテ委員長カラ指名致シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○服部委員長 御異議ガナイヤウデアリマスカラ、長野高一君ヲ理事ニ指名致シマス——發言ノ通告順ニ依リマシテ松本治一郎君ニ發言ヲ許シマス

○松本委員 此處ニ配付サレテ居リマスル參考書ヲ見マス、全國ニ公設ノ社會事業數ガ二千六百三、私設ノモノガ三千四百八トナツテ居リマス、其私設ノ三千四百八ノ中カラ優良ナルモノ一千ヲ選ンデ、是等ニ補助金ヲ給與シテ助成ヲ圖ル爲ニ、五十萬圓ノ豫算ヲ計上シテ居ルト言ハレテ居ルノ

デアリマス、然ラバ三千四百八ノ私設ノモノノ中カラ選ビ舉ゲタル一千ヲ差引キタル殘リノ二千四百八ハ今後ドウナルト考ヘラレルカ、立行キノ出來ナイヤウニシテ、政府ハソレ等ヲ踏潰シテシマフ御積リデアルカ、ソレトモ他ニソレ等ノモノガ經營ヲ續ケテ行カレルヤウニ何カ御考ニナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ御尋スルノデアリマス

○工藤政府委員 御話ノ點ハ御尤デアリマスガ、現在ハ其數ノ中デ僅ニ五百バカリシカ補助シテ居リマセヌ、而シテ此經費ノ足ラスト云フコトハ、各委員ノ皆様方カラ非常ニ強調セラレテ居リマスノデ、政府モ漸次此補助金額ヲ増シテ、殘餘ノ分ノ二千何ボト云フモノモ將來發達ノ見込アルモノニ對シマシテハ、其金額ノ増加ニ伴ウテ、漸次之ヲ補助、助成シテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、ソコデ一千ノ以外ノ二千四百八ト云フモノハ取殘サレテ居ルト申シマスガ、是ハ現在ニ於テハ補助ヲ與ヘテ居ラナイ、唯五百シカ補助ヲ與ヘテ居ラナイノデスカラ、外ノモノハ貰ッテ、自分等ノ方ハ貰ハナイト御考ニナルカモ知レマセヌケレドモ、是等モ漸次良イモノハ盛り立テ行キタイト云フ考デ居リマス、左様御諒承ヲ

願ヒマス

○松本委員 社會事業法案ノ第九條ニ道府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方社會事業ニ關スル重要事項ヲ調査審議セシムル爲メ地方社會事業委員會ヲ設置スルコトヲ得トアルノヲ「要ス」ト改メテ貫ヒタイト思ヒマス、ト申シマスノハ、「得」ト云フヨリモ、是非ヤレ、ヤラナケレバナラスト云フ方ガ宜イト私ハ思ヒマスガ、サウサレル御意思ガアルカドウカ

○工藤政府委員 大事ナ審査機關デアリマスカラ、法律ガ之ヲ命令シテ設置セシムルコトモ一ツノ方法ドラウト考ヘテ居リマス、此點ニ付テハ洵ニ適切ダト考ヘテ居リマス、併シ初メテ此法案ヲ實施スルノデアリシ、社會事業モ現在ノ狀態カラ見テハ、地方ニ依ツテハ、ソコマデ行過ギヌデモ宜イヤウナ狀態ノ所モアルノデアリマスガ、是ハ出來ルダケ普及スル積リデアリマス、而シテ漸次各地方ノ狀況ノ熟スルニ從ッテ、是等ヲ出來ルダケ普及シテ、法律ニ於テハ「得」トアリマスケレドモ、殆ド全部ヲ「得」ト云フ位マデニ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス

○松本委員 出征軍人遺家族ノ中、扶助料ヤ恩給年金ノ受領者ノ間デ、其保管、分配等

ニ付キマシテ紛争ガ起ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ハ戦死者ノ意思ヲ尊重シテ、適當ニ處理ヲサレル御用意ガアリマスカ

○工藤政府委員 御尤デアリマス、外ノ場合ト違ヒマシテ、今日ノヤウナ場合ニハ、成ベク軍人ノ家族、軍人ノ一家ヲモ相當名譽ヲ保タシムルコトニ付テハ苦心ヲ致シテ居リマス、而シテ左様ナ「トラブル」ノ起ツ場合ニ、ドウ解決シタラ宜イカト云フコトニ付テハ、法律ニ依ッテ定メラレタル機關ヲ設ケテヤルノモ一ツノ方法デアリマセウケレドモ、是ハ謂ハバ家庭ノ爭議デアリマスカラ、其「トラブル」ヲ公ニスルト云フコトハ、私共トシテハ餘リ好マシカラヌト思ッテ居リマス、サレバトテ現實ニ起ル問題ヲ其儘ニシテ置ク譯ニモ行キマセヌカラ、其土地ニ於ケル名望家或ハ其他ニ依ッテ、餘リ世間ニ目立タナイヤウナ工合ニシテ之ヲ解決シタイ、ソレニ付テハ一ツノ相談所ヲ設ケル積リデアリマス、此相談所ニ依ッテ、法律ノ力ニモ依ラズ、主トシテ戦死者ノ意思ヲ尊重シテ、之ニ副フヤウナ工合ニ纏メタイ考デ居リマス、何レニシテモ道德的ニ之ヲ解決シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○松本委員 應召出征軍人ノ姉妹ガ身賣ヲナシテ居ル者ガ多イト聞キマスガ、其點御調ヲナサツテ居リマスカ、私ノ聞及ンデ居ル所デハ、軍事扶助法ニ依ッテ貰ッテ居ル僅少ナル金ダケデハドウシテモ足りナイ、肝腎ノ働キ柱ガ出テ行ク後ドウスルコトモ出來ナイデ、仕方ナク身賣ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルデアリマス、ソレノ救済ニ付テ何カ御考ニナツテ居ラレマセウカ

○工藤政府委員 若シ左様ナコトガ事實アルト致シマスレバ、一ツアッテモ洵ニ遺憾ナコトデアリマス、厚生省トシテハ、之ニ對シマシテハ軍事扶助法ニ依ッテ處置スル場合モアリマセウケレドモ、法令ニ依ラズシテ、又別ニ其資金モ各府縣ニハアルノデアリマスカラ、出來ルダケサウ云フ資金モ動員致シマシテ、而シテ左様ナ最モ不祥ナル事柄ハ軍人ノ家族ノ中ニ起ラヌヤウニ努力シタイト思ヒマス、而シテ是ガ事實アリヤ否ヤト云フコトニ付テハ、只今ノ所マダ調査報告ヲ受ケテ居リマセヌ、若シアリマシタナラバ、ドウゾ御知ラセラ願ヒタイト思ヒマス、併シ是ハ軍人ノ家族ノ名譽ニ關スルコトデアリマスカラ、マア内々デ御願ヲ致シマス

○松本委員 私ハ軍事扶助法ノ改正ヲシテ

戴キタイト云フ點ニ付テ、御話ヲシタイノデアリマスケレドモ、ソレハ後日何カノ機會デヤルコトニ致シマス、又私ノ直接關係ヲ深く持ッテ居リマス所謂融和事業トカ、地方改善ノ方面ノコトハアマリ澤山アリマスカラ、何レ何時カノ機會ニ大臣ニ時間ヲ與ヘテ貰ッテ膝ヲ交エテ話ヲシテ見タイト思ヒマス、ソレヲ取ッテ戴キタイト思ヒマス、私ノ質問ハ今日ハ是デ打切りマス

○工藤政府委員 承知致シマシタ

○服部委員長 椎尾サン此際ニ……

○椎尾委員 前ニ鈴木委員カラ厚生省ノ名前、立場カラ段々ノ質問デアリマシテ、其時ニ出ルカト思ッタノデスガ出マセヌデシタカラ御伺ヲ致シマス、社會事業ガ段々重要ニ認メラレマシテ、遂ニ厚生省ニマデ擴大シタト言ッテモ宜イト思フノデアリマス、又各種ノ社會立法ガ段々制定サレテソレノ充タサレテ行クコトト思フノデアリマスガ、先ニ鈴木委員カラ出マシタヤウニ此種ノ事業ガ各省乃至拓務所管ノ方面ニ互ツテ、横ニ之ヲ廣ク纏メル方ノ御話ガアリマシテ、私ハ其點ニ於テハ鈴木委員カラ出マシタト同ジヤウナ考ヲ持ッテ居ルモノデ、從來行政各般ノ事ガ各省ニ分割サレテ甚ダ不統一、不徹底ニナツテ居リマスガ、厚生省ガ

立ッテ國家ノ新シイ社會的ノ動キヲ指導シテ行クト云フ上ニ於キマシテハ、是等ノ各省分割ノ爲ニ扞格ヲ生ジテ居リマスコトヲ直スコトガ必要デアルト同時ニ、モウ一ツ私希望シ、考ヘテ居リマスコトハ、社會事業ト云フ名ノ下ニ極メテ偏シタ一部分ノ事項ガ取扱ハレテ居ル、ソレデハ實際問題ニ當倣マリマセヌカラ、社會事業ノ擴大シマシタモノガ社會事業デハナクテ厚生省ト云フヤウナ形ニナツテ來タノデアリマス、而シテ其厚生省ニ含ンデ居リマスヤウナ厚生法ト云フヤウナモノデ廣ク扱ッテ行クコトガ社會事業デ、是デ以テ、扱ハウトシテ行クモノヲ満足サセテ行カネバナラス、ソレヲ今日社會事業ハ——社會ガ現ニ持ッテ居リマス缺陷カラ起ル病氣、其他ノ缺陷ヲ防護スル事業トシテ消極的ノ或ル方面ヲ主ニシテ居リマスガ、實際日本ノ國情ト云ヒ、國家ヲ本當ニ支ヘテ行クニハモット積極的ナ色々ナコトヲ社會事業ノ立場カラ考ヘラレテ行カネバナラス、即チ健康ヲ増進シマスルノモ、職業ヲ充實シテ分配シマスルノモ、教育ヲ完全ニシテ指導セシメマスルコトモ、ソレ等ノ積極的方面ヲ纏メマシテ、始メテ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデ、厚生省ニ既ニ保健其他ノコトガ入ッテ來テ居リマス

コトハソレヲ示シテ居リマスケレドモ、ドウシテモ健康ト職業能力ト教育ト此三ツヲ纏メテ積極的方法ヲシマセヌケレバ、本當ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレデ横ニ此種類ノ仕事ヲ統制セラレル外ニ、モット厚生法トモ言フベキ廣イ意味ニ於テ纏メルコトが必要デナイカ、其點ニ付テ何カ御考ガアルカ、一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス、簡單ニ言ヘバ社會事業法トシテコ、ニ舉ゲラレテ居リマスノハ、モット厚生法トモ言フベキモノデ積極の方面ヲ纏メタモノヲ立テル必要ガアルト思フノデスガ、サウ云フモノノ準備法トナルト云フ意味デ、部分法ト見ルベキカ、全然サウ云フコトヲ御考ニナッテ居ラヌカト云フコトヲ先ツ伺ヒタイト思ヒマス

○工藤政府委員 洵ニ現代ノ國家ニ取ッテハ大切ナ一ツノ問題デアラウト思フノデス、御承知ノ通り過去ノ國家ニ於テハ唯現ハルテ來タ所ノ弊害、災害ヲ除去スルト云フコトニノミ國家ノ目的ガアッタヤウナ時代モアッタノデアリマスガ、近代ノ國家ハソレデハイカヌ、ドウシテモ災害ノ豫防デモ、或ハ疾病ノ豫防デモ、或ハ失業者ガ出ルナラバ失業者ヲ出サナイヤウナ豫防施設、即チ一面ニ於テハ福利ノ増進ト云フ方ニ於

テ國家ハ全力ヲ擧ゲナケレバナラヌヤウナ時代デアラウト私ハ考ヘテ居リマスカラ、此點デハ椎尾委員ト洵ニ感フ同ジウシテ居ルノデアリマス、厚生省ガ出來マシタノモ御承知ノ通り私共カラ見マスレバ古イ時代ノ國家思想ガ消極的ニ流レテ來、其儘踏襲シテ來タモノガ、厚生省ガ出來テ初メテ——厚生省ハ主トシテ疾病、健康ノ方面ニ關スルノデアリマスケレドモ、豫防局ト云フ新シイ名ガ出來タダケデモ、餘程此點ヲ御話ノヤウニ時代ハ、要求ヲシテ居ルモノダラウト云フコトヲ私共深ク感ジテ居ルノデアリマス、一體豫防ト云フモノノ性質ガ、御承知ノ通りノ譯デ此世ノ中カラ人間ノ健康ヲ害スル所ノ疾病ヲ除去スルト云フコトハ、最も高尚ナル事業デアアルノデアリマス、併シ此方ニハ日本ノ從來ノ政府ハ餘リ力ヲ入レナカッタ、内務省ノ僅ニ一課、或ハ或ル時代ニハ一ツノ係位デヤッテ居ッタノデアリマスケレドモ、今日ノ進シダ學問ニ依ッテ、豫防衛生、豫防醫學ト云フ方面カラ考ヘマスト、相當高尚ニシテ且ツ有效ナル效果ヲ收メ得ルト私ハ考ヘテ居リマス、隨テ獨リ健康ノミナラズ社會ニ起ル一切ノ災害、一切ノ缺陷ヲバ制度ノ力或ハ國民ノ努力、或ハ道德ノ向上、之ニ對スル認識等ニ依ッテ相當

ノ所マデ持ッテ行ッテ、廣イ意味ニ於テノ豫防的施設ヲ完成スルコトが必要デアラウ、此點カラ見マスルト云フト、現在ノ社會事業ヲアルモノヲ有ルガ儘ニ持ッテ行ク法律ヨリモ、寧ロサウ云フヤウナコトニ付テ國家ハ相當ナル負擔ヲ覺悟シテ、左様ナル根本ノ法律ヲ作ル時代モ私ハ早晚來ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、此點ハ椎尾サントシテハ一日モ早イコトヲ御希望ニナルデアリマセウガ、此豫防施設ト云フモノハドノ方面デモ莫大ナ金ヲ要スルモノデアアルカラ中々容易ニ進ミマスマイケレドモ、其理想ト其方向ニ私共ハ一歩ヲ進メテ見タイ、厚生省ノ全員ヲ擧ゲテ左様ナル希望ヲ持ッテ居ルモノデアアルト云フコトヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス、併シ之ヲ具體化スルニハ御承知ノ通り官廳同志ノ關係、又官廳内部ノ關係モアリマス爲ニ、理想トシテハ、厚生省ノ理想ト云フモノハ其處ニ在ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○椎尾委員 ソレハ左様ニ承ッテ置キマシテ、特ニ茲ニ企テラレテ居リマスル内容ニ於キマシテモ、社會事業ノ中ノ救護保護ニ關シマスル方面デ、今御話ノ災害防止、疾病防止ニ關シマスル事業ガ相當澤山ニアリマスルケレドモ、ソレヲ除イタモノデ、特ニ社會

事業法トセラレマスル趣意ハ、特別ニ社會事業ノサウ云フ消極の方面ダケヲ厚生省ノ職制ノ關係デ取扱フ爲ニ制限サレテ居ルノカ、或ハ特ニ一般ノ趨勢ニ反シマシテ、サウ云フ保護事業ノ方ダケヲ社會事業トシテ取扱ッテ行キタイト云フ主張ガアルカラデアリマスカ、ソレヲ承ッテ置キマス

○山崎政府委員 本法ニ包含シテ居リマス社會事業ハ、從來所謂社會事業トシテ觀念セラレテ居リマシタ範圍ニ止マッテ居ルノデアリマス、而モ其範圍カラ他ノ特別ノ法制ニ基キマシテ助長發達ヲ圖リ得ルモノハ、勅令ヲ以テ除外スルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、茲ニ規定ヲシ、而モ此社會事業法ニ依ッテ助長發達並ニ統制ヲ圖ラントスル範圍ハ、從來ノ法的根據ノナカッタモノニ限ラレルノデアリマス、從來カラ既ニ社會事業ノ中デモ救護ニ關スルモノニ付テハ、御承知ノ通りニ救護法、母子保護法ガゴザイマスルシ、又兒童ノ保護ニ付キマシテハ、不良兒童ニ付キマシテハ御承知ノ通りニ少年救護法ガアリ、或ハ弱體兒童ニ對シマスル積極の施設トシテ、兒童虐待防止法等ガアル譯デアリマス、サウ云フ風ニ特別ノ法制ニ基キマスモノハ全部除外ヲ致シマシテ、其法制ニ基イテ將來ノ助長發達ヲ圖

ル豫定デアリマス、茲ニ規定致シテ居リマスノハ、初メニ申上ゲマシタヤウニ、其範圍ハ所謂從來社會事業トシテ觀念セラレタモノニ限ルノデアリマスガ、固ヨリ此中ニハ必シモ消極的ノ救護ト云フヤウナモノニ限ル譯デハナイノデアリマシテ、第一條ノ第四ニ掲ゲテ居リマスル所ノ經濟保護ヲ爲ス事業ノ如キハ、寧ロ一面カラ見マスレバ、救貧的ノ施設ニアラズシテ防貧的ノ施設トモ言フコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、第五ノ勅令ヲ以テ指定致シマスル事業ノ中ニモ、或ハ隣保事業ノ如キモノヲ規定スル豫定デアリマスガ、是等モ一面カラ見マスレバ防貧的ノ施設トモ出ルルト考ヘルノデアリマス、疾病ノ豫防ニ關スル事業デゴザイマスルガ、是等ニ付キマシテハ御承知ノ通りニ結核、癩、精神病ソレゾレ特殊ノ法制ヲ持ッテ居リマス、其法制ノ完全ナル運用又將來ノ改善ニ依リマシテ是等ノ施設ハ特殊ノ法律ニ依ッテソレ々適當ナ解決ノ方策ヲ見出サヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、大體サウ云フ風ナ趣旨ニ於キマシテ本法ニ規定致シマスル社會事業ノ範圍ハ、他ノ法制ニ基カザル一般的ノ社會事業ニ限ラレテ居ルヤウナ次第ニ相成ッテ居ル譯デゴザイマス

○椎尾委員 一般ノ社會事業ヲ包含スルモノデ特ニ他ノ法律ニ定メラレテ居ルモノハ自然除外サレルコトニナツテモ、是デ全體ノ所謂社會事業ヲ包括スル所ノ立法ト云フ風ニ諒承シマスガ、先ニモ伊東委員其他カラ出タノデゴザイマスガ、申ス迄モナク最近ノ國家竝ニ斯ル事業ノ趨勢ハ、特殊ノ同情施設ニ俟ツベキモノデナクシテ、國家ガ其任務ヲ負フベキモノデアル、國營ヲ主トスベキモノデアルト云フ趨勢デアルト存ジマス、同時ニ斯ウ云フ事業デハ左様ナ施設經費ト云フ以外ニ、國民ノ感情ヲ満足シ人々モ溫カイ情ヲ必要トスル一面ガアルコトハ、工藤サンカラ前ニ仰セニモナツタ通りデ、サウ云フ點ガアリマスルガ、併シ其關係ガドウ承ッテ居リマシテモハッキリ致シマセヌガ、國家ガ當然其責ヲ負フテ行クト云フ現代ノ趨勢ヲ基本トシテ、經費其他ニ於テ現代ノ日本ノ社會事業トシテハソコ迄行カレナイカラ先ヅ特殊ノ事業、同情施設ノ事業ヲ助成シテ一時ノ急ニ合ハシテ行クト云フ過渡法ト云フ立場ガ主デアルカ、或ハ將來トモ同情、國民ノ感情ヲ主トスル所ノ私營ノ社會事業ガ重大デアリ、ソレヲ成ベク發達シテ行ク方ガ國家ノ立場トシテ宜イト云フコトデアレバ、是ハ經營ノ上ニ付キマシテモ

將來トモ考ヘテ行カナケレバナラスコトデアリマスカラ、モウ少シ明瞭ニ其態度ヲ定メテ御意見ガ承リタイノデアリマス

○工藤政府委員 御質問ノ要旨ハ國家ガ本位デ行クノカ、篤志家ノ仕事ニスルカ、何方ヲ重シトシテドウ云フ工合ニスルカト云フコトデアラウト思ヒマスガ、實ハ今日ノ場合大體ニ於テ斯様ナ仕事ハ篤志家ノ同情ニ依ッテ、自發的ニ斯様ナコトニ骨ヲ折ッテ戴クト云フコトハ社會ノ今日ノ實情カラ見テ私ハ結構ナコトダト思フノデス、御承知ノ通りサウ云フ方面ニ常ニ關心ヲ持ッテ居ル宗教家ハ、進ンデ淨財蓄金ヲ集メテヤッテ居ルト云フノハ外國モ日本モ同様デアツテ、此點ハ餘程日本ノハサウ云フ方面ニ貢獻シテ居ルト云フコトヲ深く感謝ラシテ居リマス、併シ個人ノ仕事ハ時トシテハ財力ニ於テ、或ハ種々ナ調査研究等ニ於テ、之ヲ發展セシムルニ付テハ國家ノ力ヲ以テスルヨリモ容易ニソコ迄手ノ届カヌ場合ガアルノデアリマスカラ、先ヅ大體ハ篤志家ノ事業ニ俟ッテ、而シテ國家ハソレ等ヲ十分國家生活ノ目的ニ一致セシムルヤウニ助長シテ行キタイト云フ方針ヲ以テ當分進ム積リデアリマス、併シ其中ニドウシテモ國ノ力デ爲サナケレバナラスモノガ茲ニ生ジテ來タ

トスレバ、ソレハ國家ノ經費ニ於テ全部ヲ賄ッテ行カナケレバナラスト云フコトニナルダラウト思フ、一概ニハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、大體ニ於テ或ル特殊ノ法律ヲ以テ定メラレタモノノ外ハ、民間ノ篤志家ノ力ニ依ッテ進メテ、サウシテ國家ハ又之ニ對シテ相當助力ヲシヨウ、此程度ニ進ミタイト考ヘテ居リマス

○椎尾委員 ソレダケノ御趣意ハ先程カラ承ッテ居ルノデスガ、ヤハリ根本ノ問題ハモウ少シハッキリシタ點ヲ、經營者モ、社會モ、又國家ノ責任感カラ致シマシテモ、明確ニスル必要ガアルモノダト思フノデアリマス、併シ是レ以上押シテ申上ゲマセヌケレドモ、私唯其點ニ付テ、宗教其外ノサウ云フ社會ニ關心ヲ持チマシテ、本當ニヤッテ行クト云フコトダケデハ國法ナドハ到底手ノ届キマセヌ實際ニ缺陷ヲ感ジタコトニ、同情ナリ理解者ノ力ヲ以テ先ヅ始メルト云フコトガ必要デアルガ、モウ其事業ガ一ツノ定マツタモノニナツテ、ドウシテモ社會デナケレバナラスト云フコトヲ認メラレルヤウニナレバ、ズン／＼國家ノ手ニ移スト云フコトガ宜イノダト思フノデスケレドモ、之ヲ又ヤリマスル方カラ言フト、難儀ノ時ダケデ、少シモノニナツタ所デ直グ渡シテシマ

フト云フコトデハ、事業其モノガ何ダカ餘所ニ取ラレタヤウナ氣モシマスルシ、又サウ云フ經營者竝ニ應援者ガ興味ヲ失フノデアリマスノデ、何處デモ私設デ始ッタモノハ私設デ維持シテ行キタイヤウナ傾向ヲ持つノデアリマスガ、併シ本當ノ同情ナリ社會改善ニ關心ヲ持ッテ居リマスル者ハ、次カラ次ニ問題ガアリマスカラ、初メダケヤッテ、本當ニ必要ナ組織ニナッタ時ニハ社會ヘ移シテ宜イノダト云フ點ヲ思フノデ、各縣ノ指導ニ於テモ、サウ云フコトヲ多少論ジマスケレドモ、實際ノ經營者ハ不完全ナモノデモ——片輪デモ自分ノ子ハ子ダト云フヤウナ氣持デ、自分ノヤッタ仕事ダケハ何處マテモ持ッテ行カウト云フヤウナコトデ、其點ガ一ツハ本當ノ發達ヲシマセヌノデ、要スルニ事業家ノ食ヒ物トマデハ申シマセヌガ、事業家ノ仕事ニナッテシマヒマシテ、事業其ノモノノ完成ヲ見ルコトガ出來ナイ、又新シイ社會缺陷ヲ補ッテ行ク仕事ノ發達ヲ妨ゲルト云フコトニナリマシテ、何トカ此點ニ付テハ國家ガモットハッキリシタ態度ヲ以テ指導シテ行カレテ、サウシテ本當ニ社會ノ爲ヲ思フ有志ノ仕事ハ、國法施設ノ未ダ及バザル所ヘ先ヘ——ト歩イテ行クヤウニ指導サレタイモノダト思ッテ居リマスガ、ソコハ

今ハソレダケニシテ、マア過渡的ミタヤウナ御考デアルコトト大體承ッテ置キマシテ、其次ニ此事業ノ此處ニアリマスノハ、サウ云フ御趣意カラ篤志、同情デ出來テ居ルモノヲ、大體ハ助成スルト云フコトガ主ナモノデ、色々事業家方面カラノ希望モ、サウ云フ點ヲモウ少シ明白ニシテ欲シイヤウナ意向ニ見マスルガ、之ヲ社會事業法ト云フコトデナクテ、社會事業助成法ト云フヤウナ形ニ、所謂過渡的ナ立場デアリマスカラサウ云ツタヤウナ風ニ變ヘルト云フコトニ付テハ何處カ非常ニ不都合ガアルノデスカ、若シ皆シテノ意思ガサウデアレバ、サウ云ツタヤウニ變ヘテモイ、ト云フヤウナ御考ガアルノデスカ、其點ヲドウカーツ伺ヒタイト思ヒマス

○山崎政府委員 本法ノ制定ノ趣旨ニ付キマシテハ、本會議其他ニ於キマシテ、大臣ヨリモ御説明ヲ申上ゲタ通りデアリマシテ、一面社會事業ノ助長發達ヲ圖リマスル方策ヲ講ジマスルト同時ニ、他面社會事業ノ助長發達ノ爲ニ更ニ或ル程度ノ統制ヲ圖ル必要ヲ認メマシテ、兩々相俟テ公私社會事業ノ將來ノ伸展ニ資スルト云フ趣旨ノ下ニ本法ガ立案セラレ制定セラレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此二大眼目ハ本法ノ制定

ノ大キナ理由ニ相成ッテ居リマスノデ、助成ノミノ立法ニ變ヘルト云フコトハ當局トシテハ考ヘテ居ラナイコトデゴザイマス

○椎尾委員 次ニ條文ノ中デ第一條ノ初メノ四ツハ勿論重要ナモノデ、是ハ何レモモウ少シ突込ンデ行ケバ如何ナル社會デモ必要デアリマスケレドモ、日本ノ同胞一家ノ國體ト致シマシテ、老衰困難ナル者、或ハ孤兒、乳兒ノ助ケナキ者、又病者ノ療養、是等ハ消極的ニ、竝ニ先程御話ノ第四ノ積極的經濟保護、防貧施設ナルモノヲ十分ニシマスルコトハ、日本ノ同胞、國體ヲ全ウスル上ニ世界ノ何處ノ國ヨリモ完全ナ施設ヲ持ッテ居ナケレバナラスモノデアルノニ、他ノ個人主義ノ國ニ於キマシテモ何レモ立派ナ施設ヲ持ッテ居リマス所ガアル、之ヲ同情相愛ノ氣分ダケニ委セテ行クト云フヤウナコトハ非常ニ不十分ナモノデアリマスカラ、助成ニ依ッテヤラナケレバナラスモノハ仕方アリマセヌガ、其四項目ハモット徹底的ニヤラナケレバナリマセヌカラ、其點ニ於テ十分ナル御用意ヲ希望スルノデス

其第六ノ先程モ御話ガ出マシタ指導ト云フコトハ承ッテ居リマス時ハ、多少混雜ハ致シマシタケレドモ、結局指導事業デ、即チ教育、講習會其他ノ指導ヲ致シマスルコトニ國家

ガヤハリ助成的ニヤルコトガ主デアラウト私ハ思ッテ居リマシタガ、先程ノ御言葉ハゴタゴタシテ居リマシテハッキリシマセヌデシタガ、大體指導事業ト云フモノハサウ云ツタヤウナ方面ニ御助力ガアリ、又統制ヲ行ッテ行カウト云フコトデアラウト存ジマス、是ハ伊東委員カラモ聽カレマシタ時ニ、社會事業經營ニ關シマスル教育ヲドウスルカト云フヤウナ御話ガ再三アリマシテモ、其時ニモハッキリ致シテ居リマセヌデシタ、鈴木委員ノ質問ニモドウモハッキリ致シマセヌガ、私ハサウ云フヤウナ教育講習又實地指導等ノ助成ヲ爲サルコトデアルト思ヒマスガ、モウ一遍確メテ置キタイト思ヒマス

○山崎政府委員 第一條ノ第六號ノ指導ニ關シマスル先程鈴木委員ノ御質問ニ對シマシテ私申上ゲマシタコトハ、言葉ガ多少足りナカッタ點モアルヤウニ思フノデアリマス、指導ト申シマスノハ、只今椎尾サンガ御指摘ニナリマシタ通り、各種社會事業ノ講習講演ト云フヤウナコトガ主タル事業ノ内容ニナル譯デアリマス、現在御承知ノ通りニ各府縣デ社會事業協會等ガ中心ニナリマシテ、私設社會事業或ハ公營社會事業ノ職員ノ指導及ビ事業ノ指導等ヲ行ッテ居リマス

ガ、是等ノ事業が大體ニ於キマシテ玆ニ掲
ゲラレマシタ事業ニ該當スルコトニ相成ル
ト思ヒマス

○**椎尾委員** 第二條ノ届出ノコトノ御趣意
ハ分ッテ居リマスガ、届出ナイデヤッテ居リ
マシテモ、ソレハ助成トカ便宜ヲ得ルコト、

地方税ノ免除等ヲ受ケルコトガ出来ナイダ
ケデ、ヤッテ居ルコトハ届出主義デアルカラ
届出ナイコトモ勝手デアルト心得テ宜シイ
ノカ、或ハ此届出主義ノ下ニ於テ總テ纏メ
ラレルト云フ御見込デアリマスカ、要スル
ニ補助ヲ欲シイト云フヤウナ關係カラ届出
ルダラウト云フコトデ纏メルト云フコトハ
考ヘラレマスケレドモ、自由ニ教會其他デ
ヤリマスヤウナコトデ届出ヌモノハ届出ヌ
デモ勝手ダト云フヤウナ考デアリマスカ、
モウ一遍確メテ置キマス

○**山崎政府委員** 第二條ノ届出ノ問題デゴ
ザイマスルガ、是ハ届出ヲ致シマセヌデモ
別段強制ノ規定ハナイ譯デアリマス、隨ヒ
マシテ解釋ト致シマシテハ、届出ヲシナク
デモ、自由ニ經營ガ出来ルト云フ解釋ガ付ク
カト思ヒマスガ、併シ實際ノ問題ト致シマ
シテハ、成ベク本法ニ該當致シマスヤウニ
地方長官ヲ督勵致シマシテ届出ガ出来マス
ヤウニ工夫ヲ凝シタイト考ヘテ居リマス

○**椎尾委員** 第四條ノ設備改良ヲ命ズルノ
ハ、事實危險トカ其他ノ必要ガアル場合ヲ
豫想サレテ居ルト思ヒマスガ、是ハ改良ヲ
命ズルダケデ、其費用等ニ對シテハ何等含
マレテ居ラスノデアリマスカ、一寸伺ッテ置
キマス

○**山崎政府委員** 第四條ノ當然ノ結果ト致
シマシテ、經費ノ補助ト云フコトハ考ヘテ
居ラナイノデアリマス、併ナガラ其事業團
體ガ設備ノ改良ヲ命ジマシテモ、其財政狀
態ガ非常ニ困難デアリマシテ、其實現、實
行ガ出来ナイト云フヤウナ場合ニハ、他ノ
適當ナル方策ヲ講ジマシテ助成ノ途ヲ講ジ
タイト思フノデアリマス

○**椎尾委員** 第五條ノ寄附ハ一般公募ノコ
トダケヲ意味シテ居ルノデアルカ、或ハ平
生ノ任意ノ寄附受入、詰リ經營上ニハ寄附
受入ト云フコトガ定款ニ載ッテ居リマスガ、
サウ云フコトデ來ル寄附ニ付テモ何カ制限
ガアルカ、又會員、参加者ノ釀出ニ關シマ
スル分ハ、此取扱ノ中ニハドウ云フ風ニナ
ルノデアリマスカ

○**山崎政府委員** 第五條ニ規定シテ居リマ
ス寄附金ノ募集ハ公募ニ限ラレテ居ル積リ
デアリマス、隨ヒマシテ會員ノ釀出金デア
リマスとか、或ハ寄附金ノ受付デアリマス

トカ、是等ハ第五條ニ包含シナイモノト御
解釋ヲ願ヒタイト思ヒマス
○**服部委員長** ソレデハ本日ハ是デ散會致
シマス

午後三時五十五分散會

昭和十三年三月四日印刷

昭和十三年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局